

## 【令和6年度総括報告】

「公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会」として13年目を迎え、令和6年度もきこえない、きこえにくい人の生活と権利を守りながら、地域の当事者団体として1年間活動を推進してきました。以下のとおり報告いたします。

### 【兵庫の運動】

旧優生保護法によるろう者の強制不妊手術・断種・中絶問題では、7月3日（水）、最高裁大法廷で兵庫を含む5つの裁判の判決があり、優生保護法は憲法違反、除斥期間についても国の主張を退け、国に賠償を命じるという統一判断を下しました。これにより原告であるろう者の小林夫妻、高尾夫妻、脳性小児麻痺の鈴木由美氏ら原告側の全面勝訴となり喜びにあふれました。

続いて10月24日（水）神戸地方裁判所でろう者の川野さん（仮名）山川さん（仮名）が国に損害賠償を求めた訴訟の和解があり、原告と国の和解が成立しました。1月17日に補償法がスタートに伴い、当法人も1月22日、県庁で匿名のろう者の補償金申請を支援し記者会見を行いました。今後、被害者すべての尊厳回復、補償を受けれるように支援していきます。

2020年「新生児聴覚検査及び聴覚障害児支援の推進」の国家予算が拡充され、兵庫県においても、2024年9月7日（土）「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」として「兵庫県こどものきこえ相談センター」が情報センター内に併設されました。これを機に、あかちゃんからご高齢の方まで、切れ目なく相談支援ができる施設へと発展しました。

県立聴覚障害者情報センター設立から20年、きこえない・きこえにくい方々を取り巻く社会も大きく変化しております。依然、課題はありますが、一つ一つ実直に向き合うことで、共生社会の実現に向けてさらに精進していきたいと思っております。

令和6年度中に手話言語条例を可決した市町は市川町、福崎町、上郡町、神河町、豊岡市です。県内34自治体（27市7町）で条例が施行されており、施行後の手話言語に係る施策を展開していくことは重要課題であり、手話言語の普及のみにとどまらず、手話言語を必要とする市民が、手話言語を利用しやすい環境に整備していくこと等が求められています。

兵庫県に「兵庫県手話言語条例（仮称）」の制定をめざして要望書を提出する等、要望を続けています。引き続き、県及び未制定の市町に手話言語条例が制定されるよう県下各ろうあ協会とともに働きかけていきます。

国連の「手話言語の国際デー」に合わせて、世界ろう連盟の「手話言語にブルーライトを当てよう」イベントの立ち上げに呼応し、当協会も兵庫県と連携しながら、各市町や地域ろうあ協会に働きかけたところ、昨年度を上回る35市町、民間事業者等の協力もあり、県内74カ所で開催できました。イベント面では、兵庫県と共催で神戸市中央区の東遊園地広場で「手話言語を祝おう！2024」を開催しました。令和7年度も引き続き実施します。

県知事会見や県議会本会議中継は現在も手話通訳の配置が続いております。聴覚障害者情報センターにおいても遠隔手話通訳だけでなく、対面形式も含め今後とも手話言語による情報配信や医療等生活において情報コミュニケーション保障が拡充できるよう取り組んでいきます。

会員拡大については昨年度と比べ3名減少の600名でした。令和5年に発足した神崎ろうあ協会は、2年目の令和6年度には会員数が倍増するなど仲間をふやしました。今後とも地域ろうあ協会と連携を取りながら課題の克服に取り組みます。

日本聴力障害新聞の取り組みは、目標（読者数1,006部）のところ、535部で残念ながら未達成でした。

## 【協会の事業】

第51回近畿ろうあ者体育大会を明石・小野・加西で開催できたこと、第40回兵庫県ろうあ者大会（神戸）もコロナ禍以前に戻り一日開催できたこと、第51回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（加西）も前夜交流会も実施し、一日中開催しました。

当協会の各事業所の運営事業に関しても行政機関をはじめ関係機関、地域ろうあ協会等と連携を図りながら、円滑な運営に努めてきました。今後もうろう者の権利と生活を守りながら、さまざまな課題の解消に向けて取り組んでいきます。

## 【今後の取り組み】

当協会に結集する仲間を増やすために会員拡大や組織強化に取り組んでいきます。地域協会と連携を取りながら、未組織地域のろうあ協会の結成や組織強化に努めていきます。

また、兵庫県下は、ろう者のための社会資源がまだまだ少ないため、県下各地に拠点となる施設や事業を作っていきます。

兵庫県及び県内各市町すべてに手話言語条例を制定していきましょう。今後ともきこえない、きこえにくい人に対する理解や手話言語を広めていき、真の共生社会の実現をめざしていきます。

## 【全国の運動】

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、能登半島を襲った大地震を受け、2024年度第12回評議員会（和歌山）で「防災意識を高め、災害時支援体制の強化を求める」特別決議を採択しました。災害に対応できる体制、災害時に誰もが命を落とすことのない社会をめざしていきます。

旧優生保護法によるろう者の強制不妊手術・断種・中絶問題について、令和6年7月3日、最高裁判所は、国が旧優生保護法下で不妊手術を強制させたことに対し、同法は違憲と判断し、国に賠償を命じました。また、不法行為から20年で賠償請求権がなくなる「除斥期間」について「著しく正義・公平の理念に反し、容認できない場合は適用されない」との初判断を示した。国は「政府として真摯に反省し心から深くおわび申し上げます」と陳謝しました。最高裁判決を受け、全国の裁判は和解し終結しました。今後、被害者すべての尊厳回復、補償を受けられるように支援していくとともに優生思想を根絶させる取り組みの継続が求められます。

大阪府立生野聴覚支援学校女児事故死訴訟の大阪高等裁判所における控訴審では、1月20日、大阪高等裁判所（以下、大阪高裁）より民事裁判の判決が出ました。判決は、逸失利益（生涯の収入見込み額）の減額はなく、平成30年の全労働者の平均賃金の100%を基準とするという内容となり、逆転勝訴となりました。大阪高裁の判決は、「将来、きこえる人と同じ職場で同じ条件で働くことができると考えられ、労働の能力に制限があるとはいえない」と判決を下しました。社会的障壁は社会全体で解消していくという社会モデルの視点にたった判決であります。

手話言語条例については、令和6年度も地方自治体に於いて次々と制定され、令和7年3月30日現在、587自治体で手話言語条例が制定されています。

デフスポーツに関しては、令和5年からスタートしたデフスポーツ・サポーター制度は、全国各地の企業や民間団体をはじめ多くのサポーター会員を集めており、ろう者のスポーツ環境の向上をめざして2025年も呼びかけていきます。2025年に予定される東京2025デフリンピック開催を契機とした共生社会の実現に向けて取り組みが期待されます。

## 公-1 聴覚障害者の福祉向上のための事業

(概要)

聴覚障害者の生活支援や文化的活動および手話通訳者等の養成・派遣、一般企業や障害者事業所を利用されることが困難な障害者に就労、生きがいの場の提供、調査研究などを通じて聴覚障害者の福祉向上を図っている。

### 1. 手話通訳者などの講師養成事業

県及び市町村レベルの手話奉仕員・手話通訳者養成講習会の指導者を養成する。

(1) 手話奉仕員養成事業講師講習会(神戸会場)

ア. 開催期間:基礎編 令和6年4月3日(水)~5月15日(水)7回

イ. 開催場所:神戸市立総合福祉センター

ウ. 受講人数:16名(修了者15名)

### 2. 講師派遣事業

手話言語に係る講座を主催している団体(学校、手話サークル等)からの要請に応じて、講師を派遣。

(1) 内容

手話奉仕員養成・通訳者養成講座(実技、講義)、手話通訳者現任研修会、統一試験対策講座、  
庫島の災害と防災について、聴覚障害者支援事業について、ろうあ運動など

(2) 派遣回数 761回(兵庫県委託事業を除く)

小学校、中学校、高等学校8回、大学・短大・専門学校86回、奉仕員養成(実技)76回、通訳者養成193回、奉仕員養成(講義)59回、通訳者養成(講義)37回、スキルアップ講座等奉仕員70回/通訳6回、統一試験対策等65回、現任研修会41回、講師養成研修14件、学習会・研修会67回、講演・シンポジウム23回、要約筆記者養成(講義)5回、中途失聴者・難聴者関係10回、その他1回

(3) 講師

当法人理事、認定手話通訳者、登録講師

### 3. 手話通訳認定事業

(1) 手話通訳者派遣事業の円滑な運営を図るため、実技及び面接などによる選考を行い、合格した手話通訳者を当協会の認定手話通訳者として登録する。

ア. 開催日時:令和7年2月22日(土)9時半~12時

イ. 開催場所:兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 受験者数:2名

エ. 合格者数:1名

### 4. 手話通訳者派遣事業

(1) 認定手話通訳者派遣

派遣回数:669件

(2) 認定手話通訳者研修会

第1回研修会

- ・日 時:令和7年3月27日(木)
- ・場 所:兵庫県立聴覚障害者情報センター
- ・出席者:10名
- ・内 容:県議会中継手話通訳について

### 5. ろうあ兵庫

令和6年度の「ろうあ兵庫」編集活動においては、当法人として重点的に取り組んでいる事項を主にトップページに掲載し、運動面や事業面において会員に広く知っていただくことを念頭に編集しました。

主な内容

4月号 第529号:最高裁判決を待つまでもない早期・全面解決に向けて 等(12頁)

5月号 第530号:最高裁宛署名運動が終了 等(12頁)

6月号 第531号:第51回近畿ろうあ者体育大会 等(10頁)

7月号 第532号:5年ぶりに一日での大会が開かれる~兵庫県ろうあ者大会~ 等(12頁)

- 8月号 第533号：歴史的な最高裁判決に歓喜！！ 等（12頁）
- 9月号 第534号：第25回ろう教育フォーラム in 兵庫が開かれる 等（12頁）
- 10月号 第535号：兵庫県こどものきこえ相談センターが開設 等（12頁）
- 11月号 第536号：優生保護法兵庫第3次訴訟 国と和解が成立！ 等（12頁）
- 12月号 第537号：第10回兵庫県ろうあ者討論集会在開催される 等（12頁）
- 1月号 第538号：新年のあいさつ、「障害者権利条約を活かす学習会」等（14頁）
- 2月号 第539号：阪神・淡路大震災から30年を迎えて 等（12頁）
- 3月号 第540号：過去の経験が未来の成長につながる 等（14頁）

## 6. 調査研究事業

- (1) 県下のろうあ協会を通して各自治体に問題提起、要望できるような情報提供するとともに、当法人理事会を経て近畿ろうあ連盟評議員会を通じて、全日本ろうあ連盟に提案し、国への要望、交渉材料のために参考資料として活用する等を各地域ろうあ協会宛に配布しました。（重度障害者（児）日常生活用具給付等事業及び福祉のしおり等に関する調査、聴覚障害者対象日常生活用具給付等事業）
- (2) 県内意思疎通支援事業実施の自治体に対する調査  
手話言語学習者が学ぶ環境をはじめ、手話奉仕員・通訳者養成講座等の開催状況を県内41市町にアンケート調査を行いました。回収したデータをもとに統一試験の結果も含めて、今後の課題をまとめたものを各協会に配布しました。（手話対策部）

## 7. ろうあ相談員等研修事業（生活問題対策事業）

### (1) 生活問題対策部会議

#### 第1回生活問題対策部会議

日 時：令和6年5月11日（土）午後1時30分～3時30分

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 交流室

出席者：6名（身障者相談員3名、福祉対策部3名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、聴覚障害者対象日常生活用具給付及び障害基礎年金受給実態調査アンケートに関する報告、各地域の情報交換等

#### 福祉労働対策部会議

日 時：令和6年9月14日（土）午後1時30分～3時30分

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報サロン室

出席者：4名（身障者相談員2名、福祉対策部2名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、日常生活用具、駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用について問題等、ひょうご労働福祉2024開催について内容等

#### 第2回生活問題対策部会議

日 時：令和7年2月8日（土）午後1時30分～3時30分

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報機器利用室

出席者：13名（身障者相談員8名、ろうあ相談員1名、情報センター職員1名、福祉労働対策部3名）

報告内容：福祉対策部からの連絡、駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用の問題、障害基礎年金受給実態調査アンケートに関する報告、各地域の情報交換及び意見交換、その他

### (2) 聴覚障害者事業所連絡協議会

県内の聴覚障害者支援事業所関係者が集い、情報交換及び意見交換、研修会等を行う。

日 時：令和6年11月30日（土）午後12時30分～5時

～12月 1日（日）午前 9時30分～4時

場 所：神戸市立中央区文化センター 1階多目的ホール・10階・11階

内 容：第28回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会在兵庫

記念講演、特別講演、入門講座1～5講座、第1～5分科会、

出席者：25名（たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家、神戸ふくろうの杜、にしのみや聴覚障害者センター、尼崎聴覚障害者センター、おのころの家）

## 8. 手話普及啓発事業

### (1) 若者対象手話講座の実施

県内の高等学校、大学に在籍する学生を対象にきこえない・きこえにくい人への理解促進と手話言語の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】155回

【内容】講義（きこえない・きこえにくいことについて、きこえない人の暮らしについて 等）  
手話講座

(2) 出前手話講座の実施

県内の施設、団体、企業等で勤める職員等を対象にきこえない・きこえにくい人への理解促進と手話言語の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】16回

【場所】事業所、団体 等

【内容】講義（きこえない・きこえにくいことについて、きこえない人の暮らしについて 等）  
手話講座、接客方法の体験 等

(3) 親子向け（聴覚障害児等）手話教室「ひよこ」

きこえない・きこえにくい乳幼児に手話言語等に触れながら、手話言語を通じたコミュニケーションを図る教室を開催する。

【開催回数】5回

(4) 講師スキルアップ講座の開催

奉仕員養成講師のスキルアップを図るための講座 3回×2会場（神戸、姫路会場）

全面改訂版手話奉仕員養成講座の講師講習会開催に向けての講義・意見交換会5回

(5) 手話通訳者レベルアップ講座の開催

手話通訳者をめざす人の通訳レベルアップを図るための講座を開催しました。

令和6年10月30日（水）～11月27日（水）

5会場（神戸2、尼崎、加古川、豊岡）×各4回 計20回

(6) はじめての手話

県民に広くきこえない・きこえにくいことについて理解を深め、手話言語に関心を持ってもらうための講座を開催しました。

【回数】11回

【場所】神戸市3、姫路市2、洲本市、豊岡市、丹波市、宍粟市、西宮市、オンライン

【内容】きこえない・きこえにくいことや手話についての講義、実技、グループ交流

(7) 観光業向け手話講座の開催

観光業向けにきこえないこと・きこえにくい人への理解促進と手話言語の普及に向け、講座を開催しました。

【回数】13回

## 9. たじま聴覚障害者センター

(1) 就労継続支援B型事業

令和6年度は、従来の通り障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型事業として、但馬地域に在住する障害者、主にろう者の方々が自立した日常生活または社会生活を営めるよう支援を実施しました。具体的には、創作活動や生活に関する情報提供、学習会などの生きがい活動の場を提供するとともに、請負作業や施設外就労などの就労の場を提供し、これらの活動を通して利用者の知識および能力の向上を中心とした支援を行いました。

当事業所では高齢の利用者が多いため、身体機能低下予防として月2回の体操教室、口腔衛生の維持向上を図るため月1回の口腔衛生指導を継続して実施しました。現在、利用者の高齢化に伴い、入院や通所日数の減少、病院受診や介護保険の利用などにより、当事業所の利用がさらに減少傾向にあります。この状況については、豊岡ろうあ協会役員会において情報提供を行い、意見交換を実施しました。

事業所に義務付けられている虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会、感染防止対策委員会などを開催し、年1回職員向けの研修会を実施し、全職員が受講しました。

また、令和6年4月から義務付けられている、災害や感染症の大流行といった不測の事態が発生した際にも事業を中断させることなく、あるいは早期復旧を図るための計画として、業務継続計画（BCP）について職員に周知しました。

ア. 日時

月曜日～金曜日（祝祭日除く）午前9時～午後5時

イ. 場所

豊岡市城南町23番6号 豊岡健康福祉センター2階

ウ. 定員・利用実績

19名・延べ3,198名

## 工. 作業内容

- ・請負作業：市役所庁舎日常清掃業務、ポリちぎり作業、自動車部品ゴムバリちぎり作業、ランドセルの部分手作業と手縫い工程作業、プラコップシール貼り作業
- ・自主作業：アルミ缶、段ボール、古紙回収・自主製品製作、販売

## (2) 意思疎通支援事業

令和6年度は、当事業所は但馬地域におけるきこえない、きこえにくい人の生活とその福祉向上のため、但馬地域5市町より手話奉仕員養成事業を受託、豊岡市より要約筆記者派遣事業を受託して実施しました。

事業実施にあたり、かねてより一部地域で見られる受講者減少の傾向に対応するため、行政と連携し広報方法の改善を試み、関係者への受講勧誘に努めましたが、結果として受講者数は依然として低迷する状況となりました。この結果を踏まえ、今後の受講勧誘方法について改めて検討する必要があると考えております。

### ア. 豊岡市手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月1日～2月22日（入門課程・全24回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：30名

### イ. 養父市朝来市合同手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月15日～11月27日（入門課程・全21回）
- ・場所：和田山生涯学習センター
- ・受講者数：19名

### ウ. 香美町手話奉仕員養成事業

- ・日程：5月17日～3月14日（入門課程・全25回）
- ・場所：香住区中央公民館、香住文化会館
- ・受講者数：7名

### エ. 新温泉町手話奉仕員養成事業

- ・日程：6月27日～11月28日（基礎課程・全21回）
- ・場所：浜坂多目的集会施設
- ・受講者数：9名

### オ. 豊岡市要約筆記者派遣事業

- ・派遣実績：13件

### カ. 豊岡市登録手話通訳者現任研修

- ・日程：11月22日、12月6日、1月31日、2月28日、3月14日（全5回）
- ・場所：豊岡健康福祉センター
- ・受講者数：延べ33名

## 10. はりまふくろうの家

令和6年度は、障害者総合支援法の就労継続支援B型事業を利用して、姫路市近郊に在住するきこえない、きこえにくい人のうち、就職が困難な人たちに自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように通所による就労の機会を提供し、下請作業や生活に関する情報や学習会等の活動を通じて、その知識及び能力の向上のための訓練等を行いました。

姫路市が進める65歳以上の障害者を介護保険サービスに移行させる問題について、令和3年4月より65歳以上の利用者は0名のままになっています。きょうされん兵庫支部からも要望書も提出されたが、依然として介護保険サービスに移行させる方向であるとの回答が姫路市よりありました。さらに、今年度には利用者1名が40歳になり、障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行することになり、利用終了になりました。実質的には65歳以上だけの問題ではないことを痛感しました。

（令和7年3月31日現在）

おにぎり・お弁当の作業では、例年通り就労継続支援A型事業所2ヶ所、姫路聴覚特別支援学校、ヘルパー事業所等への配達や、姫路作業所連絡会の市役所ロビー（はーとふるSHOP）で出店を続けております。年1回開催される「ひめされんまつり」では日頃販売しているお弁当とは雰囲気を変え、お祭り仕様のメニュー（ポップコーン、フライドポテトなど）を販売し、ご好評いただきました。地蔵盆の時期には、地域の子供会よりおにぎりセットを105個ご注文がありました。

昨年度、三菱電機SOCIO-ROOTS基金さまより家庭用電化製品等を30万円分ご寄付いただきました。今年度贈呈式を執り行いました。

自主制作では、ボランティアの協力を受けながら、藍の葉を育て、藍染め体験をしました。また、体験後の残りの藍の葉で、さまざまな手芸品を商品化し、各所で販売することができました。

余暇活動でコンテストに出品するため、ぬりえや絵などを制作。姫路城ぬりえコンテスト2名、てのひらアート展1名、サシバのサっちゃんぬりえコンテスト1名と、入賞することができました。また、個展を開いた利用者もあり、なかまの個展を見に行く利用者もいました。

地元の姫路ろうあ協会とは、はりまふくろうの家から、利用者が参加できそうな行事などを姫路ろうあ協会に受け入れ可能か打診し、承認いただければ参加することもありました。

(1) 日時 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

(2) 場所 姫路市東延末2-51 中川ビル1F 事業所内

(3) 定員・利用実績 18名・延べ2,189名

(4) 作業内容

ア. 請負作業：箸入れ、素麺の箱折り、商品袋詰め等

イ. 自主作業：おにぎり／お弁当／お菓子製造・販売、アルミ缶回収、自主製品製作・販売

月・水・金曜日はA型事業所の利用者さん向け、姫路聴覚特別支援学校教職員向け、手話サークル虹の会昼の部例会終了後、ヘルパー事業所へお弁当の定期配達・販売、木曜日は市役所ロビー（2～3回/月）にて姫路作業所連絡会の加盟事業所としては一とふるSHOP出店。事業所内でも販売。ひょうご聴障ネット総会・夏の学習会、兵庫県聴覚障害者文化祭、民生委員総会バザー、姫路医師会看護専門学校文化祭、姫路聴覚特別支援学校文化祭など行事販売。

(5) 年間行事

お花見、社会見学（ヒガシマル醤油工場、いねいぶるの事業所見学）、姫路聴覚特別支援学校わく・ワーク体験（3日間）、は一とふるSHOPまつり、忘年会、ひめされんまつり

## 11. にしのみや聴覚障害者センター

障害者総合支援法に基づく地域活動支援センターとして、平成26年4月に開所。きこえない、きこえにくい人が自立した日常生活又は社会生活を営むため、日常生活に関する学習や悩み事相談、その他の機会を提供しています。当事業所に通う仲間たちの共通するコミュニケーションである「手話」を通して、共に学び、支え合う場として活動しております。トライやるウィーク（西宮市立深津中学校・上ヶ原中学校・今津中学校・平木中学校）を通して、生徒さんと一緒に作業したり、手話を使った交流を通して、きこえない、きこえにくい人について、理解を深めてもらいました。

毎日、手洗い・うがいを徹底し、体調管理をして気をつけるよう、健康チェック表の活用もしています。手話サロンに「一緒に楽しい体操しませんか」と「道路交通法改正について」の学習会を開催しました。利用者同士の交流を図るため、赤い羽根の歳末たすけあい募金の地域交流事業を活用してクリスマス会を行いました。

今後も利用者へ様々な情報提供を行い、また楽しんでいただけるような計画を立てていきたいと考えています。

(1) 日時（利用者時間）

月曜日～金曜日 10時～15時30分

(2) 場所

西宮市津門大筒町9-17 シャトーファイブ大筒101号

(3) 定員・利用実績

15名・延べ1,970名

(4) 作業内容

請負作業：アイラブユーキーホルダー作業、図書フィルム貼り作業、封入作業 他

(5) その他

ア・学習会など

・10月：一緒に楽しい体操しませんか

・11月：道路交通法改正についての学習会

イ・手話サロン（利用者以外の人数）

4月	24名	7月	21名	10月	12名	1月	14名
5月	29名	8月	9名	11月	17名	2月	7名
6月	11名	9月	13名	12月	休み	3月	10名

ウ・その他

・令和6年 4月：花見会

- 5月：にしのみや聴覚障害者センター10周年記念食事会  
9月：第20回兵庫県聴覚障害者文化祭  
10月：第18回ふくろうふれ愛まつり  
12月：クリスマス会（利用者と職員のみ）  
※社会福祉協議会の「歳末たすけあい募金」の補助  
令和7年 2月：防災・避難所体験（ろう協、西サ連と共催）

## 12. 尼崎聴覚障害者センター

### (1) たつのころうあハウス（就労継続支援B型事業）

主にろう重複障害者や、就労・生活に困難を抱えるきこえない、きこえにくい人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように、請負作業、自主製品、施設外就労等の就労の場を提供し、創作活動、生活に関する情報や学習会等の生きがい活動の場と利用を通して知識及び能力の向上及び就労への移行等の支援を行います。「できないことをできるようにする」をモットーに、ひとりひとりの障害やコミュニケーション方法にあわせた支援を行っています。

施設外の作業時間が増え、限られていた仲間だけで行われていたが、疲労など防止する為に交代制で取り組みながら行う事ができ、少しでも工賃アップに繋げられるよう工夫をしました。仲間たちが他の施設へ移転もあり、仲間が減りつつありますが、他市からの見学に來られたり、情報提供をして繋げていけるよう取り組みました。また仲間たちの高齢化もある為、作業量の多さ等に悩みながらも進めてきました。今年市法人指導課から指摘を受けた所について、修正、改善を行いました。職員同士では、感染症防止・BCP・身体拘束・虐待防止の研修や訓練に取り組みながら行い、知識を高め、仲間たちの支援に繋げ、尼崎ろうあ協会理事会において様々な問題や、困り事等を情報提供・意見交換を行いながら、共に考えていける事が出来ました。今回は仲間たちの学習会や体験、職員も研修等を通し、「見る、触る、知る」を様々な経験に繋げていけた1年でした

#### ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（仲間の作業は10時～15時半）

土・日・祝の開所日あり（不定期）

#### イ. 場所

尼崎市立花町4-8-12

#### ウ. 定員・利用実績

20名・延べ2,430名

#### エ. 作業内容

- ・請負作業：紙袋作業、ラベル貼り作業・チラシ作業・箱折・販売用セット・タオル、シーツ類、服類畳み、商品セット
- ・自主作業：自主製品製作（ポップリ・ルームスプレー・アクリルたわし）販売
- ・施設外：情報センター掃除・ポスティング・草抜き

#### オ. その他

- ・尼うえるフェア（販売・啓発）
- ・日帰り旅行（京都→豆腐・七味作り体験、大阪→壱輪造り・ランタン造り体験）
- ・見学（QBB プロセスチーズパーク工場・人と防災未来センター）  
体験（ヨガ2回・コンパイトウ作り）
- ・仲間の学習会（歩行、自転車ルール・防災の取り組み・ごみ減量、リサイクル・消火器使用方法・避難訓練）
- ・職員の研修会（感染症及びまん延防止研修・身体拘束等適正化研修・虐待防止研修・成年後見制度・就労系サービス管理責任者のスキルアップ研修・BCP研修・訓練研修）

### (2) たつのこ工房（地域活動支援センター）

昨年度から引き続き感染防止対策は出勤時に検温記録・アルコール消毒・マスク着用しています。週2回（火・金）たつのこうどん店を開きました。昨年度は2回休業営業を実施しました。平日に來られないお客さんが来て下さいました。

HACCPの義務化より飲食店・製麺に関する衛生管理計画と感染対策管理等引き続き管理をしています。事業所ミニパンフレットの配布、地元の手話サークルや尼うえるフェア等で情報発信を継続しています。利用者からの希望を聞き、月1回レクリエーションとして料理や気分転換の外出・買い物をしました。来年度も利用者の要望を聞き、計画したいと思います。防災訓練は年2回津波避難訓練を実施しました。高齢者が多く、インフルエンザやコロナなどの感染症や体調不良が出た場合は受診内容や自宅療養するようになど管理をしました。

職員はBCP研修会に参加し、自然災害・感染症について学びました。仲間たちの安全性を確保しながら、適切な対応を行動していきたい。

利用者は高齢者が多く身体面の低下がみられます。地域包括支援センター等につなぎ、介護保険のサービスを利用する利用者もいます。引き続き利用者の生活面・健康面・栄養面を気かけ、必要時は関係者と連携しながら支援していきます。

ア. 日時

月曜日～金曜日 午前9時～午後5時（仲間の作業は10時～16時）

イ. 場所

尼崎市立花町2-6-23

ウ. 定員・利用実績

14名・延べ1,518名

エ. 作業内容

請負作業：ダッタンそば茶袋詰め入れ／乾燥糸こんにゃく袋詰め入れ

自主作業：うどん製造・販売／アクリルタワシ作り

オ. その他

- ・地元の手話サークルに参加し、サークル員の皆さんと交流
- ・レクリエーション（料理・ヨガ・クリスマス会）
- ・尼うえるフェア（販売・啓発） ・日帰り旅行（堺・ハーベストの丘）
- ・見学（QBB プロセスチーズパーク・コンペイトウミュージアムやお・尼崎市消防署）
- ・BCP研修会
- ・学習会（救急車の使い方・成年後見制度・市のゴミについて・自転車ルールについて）

## 公-2 兵庫県立聴覚障害者情報センター運営事業

身体障害者福祉法第34条に定める聴覚障害者情報提供施設の機能を有し、聴覚障害者の社会参加と自立を援助し、生活・文化の向上と福祉の増進を図ることを目的に運営を行いました。

設置：兵庫県・神戸市

運営（指定管理者）：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通1-1-1神戸市立灘区民ホール2F

開館日及び時間 火、水、木、金、土 午前9時～午後6時

### 1. 通訳者養成事業等

#### (1) 手話通訳者養成

##### ア. 手話通訳者養成講座

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施した。

内容	実施期間	回数	受講者数(内:修了者)	場所
通訳Ⅰ	5/9～1/23(金)	36	15名(12名)	赤穂市
通訳Ⅱ	5/7～1/21(火)	34	20名(18名)	加古川市

#### イ. 手話通訳者・要約筆記者養成強化事業（手話通訳）

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を持ち、兵庫県認定手話通訳者を目指す人を対象に養成講座を実施した。

内容	実施期間	回数	受講者数(内:修了者)	場所
通訳Ⅲ	6/6～9/19(木)	11	14名(14名)	伊丹市

#### ウ. 兵庫県手話通訳者認定試験

手話通訳者全国統一試験を兵庫県手話通訳者認定試験と位置づけて実施にした。

日 時：令和6年12月7日(土)

会 場：兵庫県立のじぎく会館

可否発表：令和7年3月1日(土)

兵庫県	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率	試験委員	採点委員	要員数
	120名	5名	115名	7名	6.09%			
全国	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率			
	1962名	110名	1852名	333名	17.98%			

#### (2) 要約筆記者養成

##### ア. 要約筆記者養成講座

要約筆記者養成カリキュラムに基づく要約筆記者養成講座及び要約筆記者養成講座（各市町主催の講座を含む）修了者対象にフォローアップ講座を実施した。また聴覚障害者情報文化センター主催の要約筆記者指導者養成研修に受講者2名（難聴者）を推薦した。

内容	実施期間	回数	受講者数(内:修了者)	場所
要約筆記者養成講座 PCコース(後期)	5/14～10/29(火) 13:30～16:30	15回 (3h/回)	6名 (6名)	伊丹市
要約筆記者指導者 養成研修	①難聴者コース ②難聴者ステップアップコース	①2日× 2クール ②3日	①②各1名 (各1名)	東京都 サンライズ
要約筆記フォローア ップ講座 定期練習 会(パソコン)	①5/9(木) ②7/13(土) ③9/3(火) ④10/22 (火) ⑤11/28(木)	5回	①4名②6名 ③7名④5名 ⑤22名	情報センター

要約筆記フォローアップ講座 定期練習会（手書き）	①5/14(火)②7/13(土) ③9/12(木)④10/23(水) ⑤11/28(木)	5回	①7名②6名 ③6名④5名 ⑤13名	情報センター
要約筆記フォローアップ講座直前講座	① 2025/1/18午後合同 ② 1/25午前:パソコン ③ 1/25午後:手書き ④ 2/1午前:パソコン ⑤ 2/1午後:手書き	5回	①43名 ②32名 ③12名 ④29名 ⑤19名	情報センター ①②オンラインあり

イ. 手話通訳者・要約筆記者養成強化事業（要約筆記）

要約筆記者養成カリキュラムに基づく要約筆記者養成講座を実施した。

内容	実施期間	回数	受講者数 (内:修了者)	場所
要約筆記者養成講座 パソコンコース	6/27~11/28	44回 (2h/回)	11名 (9名)	加古川市
要約筆記者養成講座 事前説明会	6/6(木)	1回	8名	情報センター・ オンライン

ウ. 全国統一要約筆記者認定試験

実施日時：令和7年2月16日(日)

会場：兵庫県立のじぎく会館

合否発表：令和7年3月21日(金)

兵庫県	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率	要員数 10名 受験者実人数 68名 手書き 18名 PC 37名 両方 13名
手書き	31名	2名	29名	10名	34.5%	
パソコン	50名	3名	47名	14名	29.8%	
全国	申込者数	欠席者数	受験者数	合格者数	合格率	
手書き	-	-	505名	182名	36.0%	
	-	-	486名	115名	23.7%	

4. 意思疎通支援者派遣事業

(1) ひょうご通訳センター登録状況

ア. 手話通訳

A,兵庫県聴覚障害者協会認定手話通訳者（通訳士かつ協会認定を受けた者、協会認定のみの方）  
B,手話通訳士有資格者、C,兵庫県認定手話通訳者（全国統一試験合格のみの方）

登録者総数：291名（令和7年3月31日現在）（単位：名）

地域名	A,協会認定	B,通訳士	C,県認定	合計
神戸市	19	24	33	76
阪神南	8	5	22	35
阪神北	11	11	23	45
東播磨	5	6	25	36
北播磨	3	7	17	27
中播磨	8	2	18	28
西播磨	1	2	9	12
但馬	0	2	6	8
丹波	1	1	8	10
淡路	4	1	4	9

県外	0	0	5	5
合計	60	61	170	291

※通訳士の数の中に協会認定は含まない

イ. 要約筆記

登録者総数152名（令和7年3月31日現在）

全国統一要約筆記者認定試験合格者を登録（単位：名）

地域名	手書き	PC	両方	合計
神戸	7	10	11	28
阪神南	9	12	5	26
阪神北	4	17	17	38
東播磨	5	6	6	17
北播磨	2	9	5	16
中播磨	7	2	3	12
西播磨	1	1	0	2
但馬	2	2	0	4
丹波	0	4	2	6
淡路	2	1	0	3
合計	39	64	49	152

(2) 現任研修会

【更新カウント対象研修会】

ア. 手話通訳

種別	日時	研修内容	受講者数	場所	時間
基本	2024/13（土）	新任研修 （派遣事業のオリエンテーション）	12名	情報センター	2h
知識	2025/3/1（土）	手話通訳者のためのZOOM基礎講座	8名	情報センター	2.5h
技術	7/13（土）	「読み取り研修」	22名	情報センター	2h
	8/3（土）AM	「読み取り研修」	17名	情報センター	2h
	8/3（土）PM	「聞き取り研修」	21名	情報センター	2h
	9/11（水）	「聞き取り研修」	11名	姫路市役所	2h
	10/8（火）	「聞き取り研修」	15名	情報センター	2h
	10/19（土）	「聞き取り研修」	7名	加東市社公民館	2h

イ. 要約筆記

種別	日時	研修内容	受講者数	場所	時間
基本	4/20(土) AM	新任研修（派遣事業のオリエンテーション）	17名	情報センター	2h
技術	4/20(土) PM	筆記・入力実習研修	手書き10名 パソコン11名	情報センター	2h
技術	5/16(木)	パソコン要約筆記の導入研修	11名	情報センター	3h
技術	5/22(水)	手書き要約筆記の導入研修	14名	情報センター	3h

技術	6/14(金)	遠隔要約筆記の方法	20名	情報センター	3h
技術	6/27(木)	パソコン要約筆記オンライン研修	18名	情報センター・ オンライン	2.5h
技術	7/20(土)	手書き要約筆記のロールプレイを 交えた研修「ノートテイク」	14名	情報センター	3h
技術	8/14(水)	要約と検証の実習	パソコン13名 手書き6名)	情報センター・ オンライン	3h
技術	9/18(水)	パソコン要約筆記による遠隔要約 筆記研修	情報センター4名 宍粟11名	情報センター ・宍粟会場	3h
技術	10/24(木)	パソコン要約筆記の模擬現場実習 [全体投影]	8名	情報センター	4.5h

#### ウ. 手話通訳・要約筆記合同

知識	日時	研修内容	場所	時間
知識	随時	「共に歩むとは」 講師：大矢遅氏	動画視聴	40分
基本	随時	ひょうご通訳センター事業概要・派遣依頼の 流れ・注意事項等	動画視聴	36分

上記の他、情報センター主催行事の一部を、ひょうご通訳センター登録手話通訳者・要約筆記者研修会として呼びかけた。(該当行事：聴覚障害児とママ&パパ学習会、健康学習会、防災学習会、労働懇談会)基本・知識・技術研修をいずれか1回受講により更新可。受講後のレポート提出をもって、登録者研修の出席カウントに加える。

#### (2) 兵庫県公費派遣

##### ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	19	6	6	4	8	2	13	8	2	4	1	78
人数	16	41	17	12	8	20	4	40	18	8	8	2	194

※キャンセルを含む(2件)

##### イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	3	9	9	10	5	5	7	10	8	3	5	3	77
人数	8	29	30	32	13	19	19	29	25	9	14	12	239

※キャンセルを含む(3件)

#### (3) 市町村公費広域派遣調整

##### ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	65	57	48	68	68	64	62	68	50	45	51	65	711
人数	87	73	62	85	86	84	78	87	71	53	70	84	920

※内、県外広域派遣による差額補填件数37件

※キャンセルを含む(47件)

イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	11	12	20	25	32	19	28	31	25	23	23	15	264
人数	17	24	42	56	66	37	61	62	52	48	47	30	542

※県外広域派遣による差額補填件数0件

※キャンセルを含む（16件）

ウ. 内容別件数

	手話		要約筆記		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
医療	365	365	32	32	397	397
権利義務	27	43	9	23	36	66
福祉	12	23	3	3	15	26
労働	13	13	4	5	17	18
住居	1	1			1	1
司法	0	0			0	0
教育	49	82			49	82
育児	0	0			0	0
生活	97	138			97	138
生涯教育	1	1	8	15	9	16
社会活動	139	242	53	83	192	325
行事	6	10	146	368	152	378
難聴者の会	0	0			0	0
その他	1	2	4	4	5	6
合計	711	920	259	533	970	1,453

エ. 依頼元別件数

	市町名	手話通訳		要約筆記		地域計			市町名	手話通訳		要約筆記		地域計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数			件数	人数	件数	人数	件数	人数
阪神南	神戸市	19	25			19	25	中播磨	姫路市	37	40			56	76
	尼崎市	92	108	4	4	111	131		神河町	1	2				
	西宮市	5	6	9	11				市川町	0	0				
	芦屋市	0	0	1	2				福崎町	18	34				
阪神北	宝塚市	19	21	3	5	122	155	但馬	たつの市	11	14	13	49	53	84
	川西市	4	4	6	7				赤穂市	49	89	3	12		
	三田市	70	81	8	21				宍粟市	41	56	53	143		
	猪名川町	3	4	6	12				太子町	7	8	10	13		
	明石市	28	42	13	19				上郡町	1	1	1	2		
東播磨	加古川市	26	26	7	9	193	253	丹波	佐用町	3	6	1	4	36	56
	高砂市	18	20	20	28				豊岡市	4	6	12	26		
	稲美町	1	1						養父市	8	15	1	4		
	播磨町	2	3						朝来市	0	0	1	4		
	淡路3市	7	7						香美町	2	4				
北播磨	西脇市	7	12	3	5	193	253	丹波	新温泉町	25	25			36	56
	三木市	15	24	31	39				丹波篠山市	12	24				
	小野市	23	29	13	20				丹波市	24	32				

加西市	31	32				県外	29	36	7	7	36	43
加東市	36	41	11	19		遠隔通訳	0	0			0	0
多可町	21	27	2	5		合計	711	920	264	542	975	1462

兵庫県主催イベントにおける聴覚障害者への情報配慮

ア. 手話通訳

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2	3	8	8	3	7	20	21	9	9	15	11	116
人数	4	11	12	5	7	19	28	37	24	13	24	21	205

※キャンセルを含む(36件)

イ. 要約筆記

実施月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	0	3	5	4	3	3	9	10	2	6	1	5	51
人数	0	7	15	16	11	12	24	31	7	23	4	24	174

※キャンセルを含む(22件)

(6) けいわん検診

県下でコミュニケーション支援事業に関わる設置手話通訳者、派遣事業の登録手話通訳者、要約筆記者、聴覚障害者福祉施設で働く職員を対象にけいわん検診を実施した。

ア. けいわん検診実施状況

①神戸会場：兵庫県立聴覚障害者情報センター

7月16日(火) 10:30~16:00 受診者44名

7月30日(火) 10:30~16:00 受診者33名

②丹波篠山会場：丹南健康福祉センター

6月25日(火) 11:00~16:00 受診者14名

③川西会場：キセラ川西プラザ

6月27日(木) 10:00~16:30 受診者25名

④高砂会場：高砂市ユアアイ福祉交流センター

7月4日(木) 11:00~16:00 受診者32名

イ. 検診結果

判定結果	人数
A： 健常期	48
B1： 疲労期	81
B2： 初期	16
B3： 顕性期	3
C： 重症・遷延期	0
※棄権者	0
計	148

ウ. 健康学習会

日 時：6月23日(日) ①10:15~11:30 ②13:15~14:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容「けいわん」を知ろう! & ボクササイズでリフレッシュ!

講 師：①「けいわん」のお話 1h 講師：兵庫手話健康対策委員会 仲井正氏

②ボクササイズ 1h 講師：エアロピクス・ボクササイズ指導員 松原きくみ氏

対 象：登録手話通訳者・要約筆記者、聴覚障害者関係事業所職員、関係団体の聴覚障害者や職員等出席者：32名

(7) 各担当国会議、研修会

ア. コーディネーター研修会（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町のコミュニケーション支援事業担当者及び手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターを対象に案内し、手話通訳・要約筆記派遣コーディネーターの資質の向上を目的に開催した。

日 時：10月30日（水）13：30～16：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・豊岡市役所立野庁舎・たつの市役所新館

内 容：①ひょうご通訳センターからの報告（意思疎通支援事業実態調査報告 他）  
②講演「コーディネーターの役割と心構え」

講 師：向日市専任手話通訳者 岩谷 誠司氏

出席者：27名（17市町・6事業所）（情報センター17名・豊岡会場5名・たつの会場5名）

イ. 意思疎通支援業務担当国会議（手話通訳、要約筆記合同）

県下各市町の意思疎通支援事業担当者と設置手話通訳者を対象に案内し、各市町への情報提供や提案および情報交換をすることにより各市町における同事業の充実と均一化を図ることを目的に次のとおり開催した。

日 時：9月17日（火）13：30～16：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・豊岡健康福祉センター

内 容：①講話「中途失聴・難聴者とのコミュニケーション」 2h

特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会

理事長 増田雅博氏・事務局長 庄司美絵氏・理事 竹沢啓子氏

②意見交換 1h

出席者：40名（1県・22市町・4事業所）（情報センター会場34名・豊岡会場6名）

ウ. 設置手話通訳国会議

日 時：1月15日（木）13：30～16：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：講演「ろう者にとって安心できる手話通訳者とは」

講 師：（公社）兵庫県聴覚障害者協会登録講師

NPO法人神戸ろうあ協会 会長 小川知子氏

出席者：23名

エ. 要約筆記コーディネーター情報交換会

日 時：①7月18日（木）13:30～16:00 ②2月19日（水）13:30～16:30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター・オンライン

内 容：養成・研修・派遣について

出席者：①33名（17市町・4団体） ②33名（16市町・6団体）

オ. 遠隔手話サービスシステム説明会

日 時：5月23日（木）13：30～16：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター

内 容：遠隔手話サービスの概要・活用事例・利用の流れ・体験会・質疑応答

担 当：情報センター意思疎通支援事業担当者

出席者：22名（16市町）

相談支援事業

(1) ろうあ者相談

ア. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	3	7	4	7	4	4	27	17	19	7	3	5	107

※移動相談は、市川町、神戸市須磨区、神戸市東灘区に訪問。いずれも相談件数は0であった。

イ. 相談内容

- ・金銭管理、福祉制度の利用の支援

- ・制度内容の説明、求職支援など
- ・他機関との連携

ウ. 「聴覚障害」の理解セミナー

相談員3名が講師を務め、手話通訳者1名とともに講義・進行を行う。地域で福祉関係従事者を対象に実施。講義、機器や筆談体験、ロールプレイ等を行った。

日程	時間	場所	受講者数
12/18(水)	13:30~16:00	市川町就業改善センター2階	13名
1/22(水)	13:30~16:00	須磨区役所4階 多目的会議室	8名
2/28(金)	13:30~16:00	東灘区役所4階 大会議室	13名

(2) 聞こえの相談・難聴者相談

ア. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	16	21	6	11	7	9	17	16	15	23	14	9	164

(3) こころの相談

ア. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数	8	10	6	7	9	7	10	9	7	8	7	7	95

※はりまふくろうの家1回/年(5件) 出向した。

3. 中途失聴者難聴者コミュニケーション訓練事業 (特非) 兵庫県難聴者福祉協会とともに運営。

(1) コミュニケーション教室

開催地	日程	内容	回数	講師	受講者数	場所
神戸市	5/11、18、6/1(土)	読話	3	岡恵子氏	15名 (延べ32名)	情報センター
	6/8、22、29(土)	手話	3	石井加代子氏	12名 (延べ27名)	情報センター
西宮市	7/3、17、8/7(土)	手話	3	庄司美絵氏	11名 (延べ33名)	西宮市 中央公民館
養父市	7/28(日)	読話	1	岡恵子氏	7名	やぶ市民 交流広場
加西市	7/23(日)	読話	1	岡恵子氏	7名	加西市民会館
川西市	12/22(日)、 1/11(土)、25(土)	手話	3	浅井直美氏 加藤めぐみ氏	18名 (延べ48名)	川西公民館

(2) 難聴者のための手話教室

開催時間：13:30~15:30 会場：情報センターサロン室

	内容	日時	講師	受講者数
初級	水曜コース	7/3、24、8/7、28(中止)、 9/11、25	庄司美絵氏	4名(延べ10名)
	土曜コース	7/20、8/3、17、31(中止)、 9/21、10/5	加藤めぐみ氏	8名(延べ26名)

中級	水曜コース	10/9、23、30、11/13、27	阪倉智永子氏	6名(延べ28名)
	土曜コース	10/12、26、11/9、16、30	太田稔氏	5名(延べ18名)
上級	土曜コース	1/11、18、25、2/1、8	仲光恵氏	4名(延べ14名)
	難聴手話講師 フォローアップ研修	3/16(土) 10:00~16:00	全講師	14名

受講条件：手帳の有無に関わらず、聴覚障害者であること  
(初級)手話や読話を全く学んだことのない方は、地域で開催されている講座、  
又は例年、情報センターで開催している「読話手話入門」を先に受講のこと  
(上級)入門講座受講者は受講不可  
講座内容：(初級)手話単語の習得を目的  
(中級)短文レベルの習得を目的  
(上級)場面での会話、時事ネタ、ろう者の手話の読み取り、スピーチ  
情報保障：初級コースのみ講師の読み取り通訳と要約筆記を配置  
中級コースは講師補助として通訳者を1名配置

#### 4. ろうあ者社会生活教室

日 時	内 容	参加者数	場 所
7/7(日) 13:30~16:00	ひょうご手話フォーラム 「手話言語通訳者を増やすために」 講師：江原こう平氏(国立障害者リハビリテーション センター学院手話通訳学科教官)	65名	長田区文化セン ター別館ピフレ
9/8(日) 10:40~11:40	女性セミナー 「播州織」 講師：玉木にいめ氏(AMAZING HYOGO)	24名	日本のへそ 公園
9/16(祝) 13:00~15:00	2024年度こうれいしゃ講演会 「ドイツ」 講師：芳本光司氏(一社)奈良県聴覚障害者協会)	65名	神戸市障害者 福祉センター
9/28(土) 10:00~12:00	青年部&スポーツ部 「私が見た、聞いたデフリンピックの歴史と現在 へのつながり」 講師：信田 光宣氏(公社)兵庫県聴覚障害者協会ス ポーツ部副部長	16名	神戸市立総合 福祉センター
2/9(日) 13:00~16:00	第28回ろう教育学習会 「デフスポーツの背景について」 講師：堀井 聡太氏(現日本代表デフサッカー選手) 梶野 耕佑氏(元デフテニス日本代表)	35名	兵庫県立 のじぎく会館
2/22(土) 13:30~16:00	ひょうご労働・福祉2024 「アサーション」 講師：林昌範氏(県立聴覚障害者情報センター)	22名	兵庫区文化 センター

#### 5. 難聴者教室事業

##### (1) たじま地域難聴者教室「聞こえを学ぶ集い」

日 時：12月7日(土) 14:00~15:30

場 所：豊岡市民プラザ 練習室A

参加者：5名(聴覚障害者4名、手話サークル員1名)

内 容：「家族で守る 家庭で防ぐ ~予防救急について~」、座談会

講 師：豊岡市消防本部 唐田氏

(2) 手話歌を楽しもう

日 時：年間5回 水曜13：30～15：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報サロン室

講師は難聴者。様々な情報提供や取り組みも前半に加えて実施。要約筆記配置。

開催日	4/10	7/10	10/2	12/11	2/5
参加者	8	8	7	9	7

(3) 読話サークル「ひまわり」

日 時：水曜13：30～15：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報サロン室

講師は言語聴覚士。読話手話入門講座修了者有志が中心の集まり。要約筆記配置。登録者7名

開催日	6/5	9/4	12/18
参加者	6	3	4

(4) 手芸サークル

日 時：毎月第3水曜13：30～15：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 情報サロン室

講 師：中途失聴・難聴者2名。手話・要約筆記ボランティアスタッフを配置。

製作品：パッチワーク、キャラクター手芸品など

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
参加者	2	2	4	4	4	5	4	5	4	5	5	4

6. 聴覚障害者及び聴覚障害に関する理解促進事業

(1) 中途失聴難聴事業推進委員会

会 議：8/3 (土)(ハイブリッド)、2/22 (土) (ハイブリッド)

目 的：難聴・要約筆記の4団体（特）兵庫県難聴者福祉協会・神戸市難聴者協会・兵庫県要約筆記サークル連絡協議会・要約筆記サークルこうべ）と情報センターで、兵庫県内全域の難聴者福祉を理解し、考えることが目的。

内 容：要約筆記検討会と合同で実施。情報交換、課題共有を行った。

【家庭部会】令和7年度から、部会の名称は「学校文字支援部会」となる。

会 議：4/17、5/31、7/3

内 容：(1) 要約筆記の説明動画・Youtubeチャンネルに投稿（計5本）

(2) 学校支援について学習会を開催

対象：要約筆記の基礎を学んでいる人（資格は問わず）

【神戸会場】

日 時：9/13 (金) 13：00～16：00

場 所：情報センター（サテライト会場希望は許可）

参加者：情報センター26名 サテライト会場46名 計72名

【姫路会場】

日 時：10/17 (木) 13：00～16：00

場 所：姫路市総合福祉会館 第2会議室

参加者：26名（内スタッフ・講師5名）

(3) 兵庫県難聴児親の会（会長・副会長）と家庭部会・県要連交流支援部で懇談

日時：2/22 (土) 10：00～12：00

【社会生活部会】

会 議：5/10、6/12、7/12、8/23、11/8、12/13、2/7

内 容：(1) リーフレット「聞こえ」への配慮はできていますか？) の配付

防災/パンダナの周知・啓発協力

(2) ヒアリング対応・理解啓発依頼

県／都市政策課：バリアフリー法施行令改正に伴う劇場等における  
集団補聴設備の整備について  
県警／自転車の交通ルール改正に伴い、補聴器とイヤホンの誤認識防止への周知依頼

(3) 取り組み

- ・日常生活用具の給付条件から準世帯項目の見直し啓発活動の説明動画の作成
- ・Google mapの作成 ・ピクトグラム「日本語字幕」の協議

【労働部会】

会 議：5/11、6/29、7/6、9/14、12/7、1/11、2/1

訪 問：労働局 11/13（聴覚障害者2名、聴者3名、手話通訳）

県労政福祉課 3/6（聴覚障害者3名、聴者1名、手話通訳）

来 訪：高齢・障害・求職者雇用支援機構 8/29（聴覚障害者3名、聴者5名、手話通訳）

企 画：第6回 労働懇談会

内 容：第1部：講演「職場における困りごととは～聴覚障害者の心理的側面～」

内 容：第2部：グループディスカッションの役割と技法

日 時：7月15日（祝）13：00～16：00

場 所：姫路市総合福祉会館 第1会議室（集会式）

参加者：42名（内：聴覚障害25名）スタッフ6名、講師2名、手話通訳3名、要約筆記4名

(2) 第20回聴覚障害者文化祭

日 時：9月7日（土）

参加人数：450名

(3) 聞こえの懇談会

中途失聴・難聴者、聞こえに悩む人々を対象に、聞こえに関する情報提供、仲間の存在を知ること、精神的なリハビリテーション（障害の受容）等を通して、耳の不自由を克服して豊かな人生を過ごせるよう相互交流を図ることを目的に、県下2か所で実施した。

日 時：①6月22日（土） ②2025年2月23日（日）13：00～16：00

会 場：①やぶ市民交流広場 ②加西市民会館

内 容：座談会形式で一人ひとりの悩みを聞き出しアドバイス、質疑応答、難聴者の体験談など

進行担当：特定非営利活動法人兵庫県難聴者福祉協会

参加者：①12名 ②19名

(4) 聴覚障害児とママ&パパ学習会

日 時：8月10日（土）9：50～15：00

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター 全室 及び オンライン

講 演：『手話がつなく子どもたちの輪 ～放課後等デイサービスを通して見えたこと～』  
（神戸長田ふくろうの杜）

放課後等デイサービスふくろうっこ管理者 山本笑由美氏

企 画：ワークショップ各種、中学生のしゃべり場

参加者：オンライン視聴：情報保障者：申込15名

会場参加：49名（保護者等 21名、情報保障者8名、こども20名）

Youtubeライブ：最大同時接続 19名（職員他、関係者・スタッフの視聴あり）

スタッフ他：30名（ミルミル3名、N-Action4名、兵聴協青年部1名、県難聴女性部4名、手芸サークル3名、ぺんぺん草2名、ST学生ボラ4名、引率教員1名、ST2名、個人ボラ3名、手話通訳2名、PC要約筆記4名、職員3名含む）

## 7. 聴覚障害者災害対応訓練事業

(1) 防災学習会（聴覚障害者向け）

日 時：10月14日（月・祝）13：30～15：30

場 所：情報センター会議室 及び オンライン（Zoom）

参加者：会場58名 オンライン77名（聞こえる関係者も対象とした）

内 容：講義1 「地震災害に備えて 能登半島地震 ～被災者の現状と今後の課題～

北信越ろうあ連盟 事務局長 山科 孝良 氏

講義2 「大地震に備えて 私たちに今できること」

神戸地方気象台 防災指導係 大西 香代 氏

## (2) 防災学習会（行政職員向け）

日 時：11月14日（木）14：00～16：00

場 所：オンライン（Zoom）

参加者：18市町77名

内 容：講義「災害救援活動から 要配慮者支援の在り方を考える

～東日本大震災・能登半島地震 聴覚障害者支援から見えた課題～」

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 理事 中西 久美子氏

## 8. 聴覚障害者緊急時情報通信事業

「ひょうご防災ネット」を活用して、聴覚障害者向けの情報を配信する。命に関わる一次的情報は各行政から配信され、当センターからは、聴覚障害者が日常生活に戻れるための二次的情報を配信する。また、緊急時に備えて、日常的にメール受信を確認できるよう、防災以外の様々な情報を「お知らせ情報」として配信している。

※ひょうご防災ネット…登録者の携帯電話やパソコンに「緊急情報」「お知らせ情報」などを配信するもので県内市町でも活用されている。従来のメール版にくわえて、スマホアプリ版も活用が広がっている。

## 9. 情報機器の利用・貸出し事業

聴覚障害者への情報保障に必要な、ヒアリングループ（磁気誘導ループ）、OHC、モバイルスクリーン、ビデオプロジェクター、要約筆記表示用パソコン等の情報機器の貸出を行った。

## 10. IT機器活用研修事業

### (1) パソコン相談

聴覚障害者向けにパソコン相談を開催した。

#### ア. パソコン相談（平日）

日 時：随時

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター IT室

対応者：職員

件 数：32件

#### イ. パソコン相談（土曜）

日程：毎月1回、第3土曜日を基本に調整

（6/8、6/15、7/20、8/17、9/21、10/19、11/16、12/21、2/15、3/15）

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター IT室

対応者：PC相談員

件 数：11件

#### ウ. 但馬地域パソコン相談

日 時：第2土曜日、第4土曜日を基本に調整（13：00～17：00予約制）

（6/22、7/27、8/24、9/28、11/9、12/7）

場 所：たじま聴覚障害者センター

対応者：聴覚障害者相談員

件 数：8件

#### エ. パソコン・スマートフォン相談会・IT相談会（予約制・個別対応）

日 時	内 容	参加者数	場 所
-----	-----	------	-----

9/7 (土) 10:00~15:30	スマホ無料相談会~docomoとSoftbank~ パソコン・IT相談 (電話リレーサービス相談 会・遠隔通訳体験会 同時開催)	37名	情報センター 研修室兼会議室 情報機器利用室
2/15 (土) 10:30~16:30	スマホ相談会 (個別・1人1時間) Softbank・IT相談	10名	情報センターIT室

(2) IT学校及びパソコン講習会

聴覚障害者及び情報保障者向けにIT学校及びPC講習会を実施した。

日時	内容	参加者数	場所
6/6,13,20, 7/4,11,18, 8/1,8,22 (土) 10:00~12:00	なるほど!パソコン教室 (前期) (木曜)	5名	情報センタ ー 情報機器利 用室
10/3,10,17, 10/24,11/7,21 11/28,12/5 (木) 10:00~12:00	なるほど!パソコン教室 (後期) (木曜)	3名	情報センター 情報機器利用室
10/5,12,26, 11/29,16, 11/30,12/7 (土) 10:00~12:00	なるほど!パソコン教室 (後期) (土曜)	4名	情報センター IT室
6/8,29,7/13 7/27,8/3, 8/17 (土) 13:00~16:00	VBAプログラミングを学ぼう	5名	情報センター 情報機器利用室
7/27 (土) 13:00~14:45	災害時に役立つスマホの便利機能 ① たつの会場 ② 神戸会場	①22名 ②7名	①たつの市役所 多目的ホール ②情報センター会議室
8/10 (土) 13:30~15:30	IT学校 第6 6講 音声認識アプリを使ってみよう	10名	区民ホール1階 会議室1
9/28 (土) 13:30~15:30	IT学校 第6 7講 大切な写真やデータをまもるために	9名	情報センター会議室
2/1 (土) 10:00~12:00	Google講座	5名	情報センター会議室

(3) 聞こえる人向けIT講座及び研修会

日時	内容	参加者数	場所
1/23 (木土) 10:00~12:00 13:30~15:30	オンラインイベントにおける音環境の 構築について 市町職員・ITサポーター研修	19名	情報センター 研修室兼会議室 情報機器利用室

(4) ITサポーター活動 遠隔講座開催協力及び課題検証報告

当センター登録のITサポーターの協力を得て、遠隔講座やリアルタイム配信などを行った。  
各日、終了後には課題検証報告をし、今後につなぐための課題対策等も進めた。

日時	内容	参加者数	場所
----	----	------	----

7/27 (土) 13:00~14:45	災害時に役立つスマホの便利機能 ①たつの会場 ②神戸会場	①22名 ②7名	① たつの市役所 多目的ホール ②情報センター会議室
10/11 (金) 10/14 (月・祝) 10:00~18:00	防災学習会（聴覚障害者向け） 登録通訳者研修 兼 オンライン配信及び課題検証報告会	5名	情報センター会議室 ・オンライン
11/13 (水) 11/14 (木) 10:00~18:00	防災学習会（行政職員向け） オンライン配信及び課題検証報告会	5名	情報センター会議室 ・オンライン

#### (5) ICT 指導者養成講座

障害者特性を理解しIT機器等の活用方法を指導できる人材の養成を目的に、指導者養成講座を実施した。

日 時	内 容	参加者数	場 所
10/5,19、 11/9 (土) 10:30~15:30	ICTサポーター養成講座聴覚障害者向け スマホ活用講座 2024 ①淡路会場 ②三田会場	①12名 ②12名	①洲本健康福祉館 ②三田市総合福祉保健 センター
1/11 (土) 1/12 (日)	災害時に役立つスマホ活用講座 ひょうご防災ネットアプリ スマホの基本・便利機能活用	13名 15名	宍粟防災センター 5階大ホール 4階研修室

### 7. 聴覚障害者向けビデオ自主制作事業

#### (1) 聴覚障害者向けビデオの自主制作

聴覚障害者向けに手話や字幕を挿入したビデオを自主制作し、ビデオライブラリーでの貸出しや関係機関、団体への配布等を行った。（ライブラリーでのDVD貸し出し）

No.	ビデオタイトル	時間	本数
1	公開収録⑤ 洲本市の大矢遅さん 「学ぶとは 教えるとは」～3. 3声明を中心に～社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会理事 大矢遅氏	68分	5
2	第40回兵庫県ろうあ者大会 in 神戸 記念講演 「手話映画を撮影して」講師 谷 進一氏（映画監督）	128分	5
3	熱中症から身を守るために① 「熱中症の症状」	6分	5
4	熱中症から身を守るために② 「なぜ熱中症を引き起こすのか？」	6分	5
5	熱中症から身を守るために③ 「熱中症の発生と気象条件って何？」	6分	5
6	熱中症から身を守るために④ 「熱中症予防情報サイトを見てみよう！」	7分	5
7	熱中症から身を守るために⑤ 「熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラート」	7分	5
8	防災学習会「令和6年能登半島」～被害者の現状と今後の課題～ 講師 山科孝良氏 北信越ろうあ連盟事務局長	77分	5
9	防災学習会 「大地震に備えて」～私たちに今できること～ 講師：大西香代氏 神戸地方気象台	30分	5
10	防災学習会 「きこえない・きこえにくい人の災害支援」 講師：全国聴覚障害者情報提供施設協議会 理事長 中西 久美子氏	77分	5

11	防災学習会（Zoom） 2023年11月16日 北村 加奈氏 岩本吉正氏 玉井佐知氏	87分	5
12	「自転車に関する道路交通法の改正について」 2024年11月～の道路交通法改正に関する解説	6分	5
13	公開収録⑥ 洲本市の大矢暹氏 シリーズ2 福祉実践と私の人生	105分	5
14	公開収録⑦ 洲本市の大矢暹氏 シリーズ3 ふくろうの郷建設とろうあハウスデイサービス	56分	5

(2) 聴覚障害者向けビデオの公開収録

ビデオ自主制作にあたり、関係者に広報して、公開収録を行った。

No.	日時	内容	参加者数	場所
1	7/11（土） 13:30～15:30	「大矢暹氏 人生を語る」公開収録 学ぶとは教えるとは	50名	情報センター会議室
2	12/20（金） 13:30～15:30	「大矢暹氏 人生を語る」公開収録 Part2 part3 福祉実践と人生	25名	情報センター会議室

(3) 関係団体及び行政機関等との合同制作及び外部団体からの制作依頼協力

No.	タイトル	時間
1	2024年度 手話言語の国際デー・イベント	10分
2	2024年度 統一試験学習会DVD	70分
3	2024年度 兵庫県手話通訳者認定試験DVD	7分

(4) CS 障害者放送「目で聴くテレビ」等への番組提供・協力

兵庫からの情報番組として、CS放送「目で聴くテレビ」へ映像提供、取材協力を行った。

No.	タイトル	時間
提供①	「第72回 全国ろうあ者大会 in 和歌山(分科会)	180分

(5) 「情報センター動画チャンネル」の公開

聴覚障害者や手話、要約筆記学習者等を対象としたYoutubeチャンネル。

聴覚障害者に必要な情報や従来のビデオライブラリー貸出し作品の一部を配信。今後も随時更新を行う。

No.	タイトル	時間
1	優生保護法裁判 最高裁判決(2024.7.3)	5分
2	熱中症について①熱中症の症状	6分
3	熱中症について②なぜ熱中症を引き起こすの	6分
4	優生保護法裁判 最高裁判決	3分
5	熱中症について③熱中症の発生と気象条件って何？	6分
6	熱中症について④熱中症予防情報サイトを見てみよう	7分
7	熱中症について⑤熱中症警戒アラート・熱中症特別警戒アラートって何？	7分
8	道路交通法の改正	6分
9	ひょうご安全の日のつどい 2025年1月17日	12分
10	はじめての手話教室「手話って知ってる？」	4分

(6) 「手話を学ぼうチャンネル」の公開

主に中途失聴・難聴者や聞こえる人を対象にしたYoutubeチャンネル。

日常会話に必要な基本的な手話表現や聞こえない人からのお話等を配信。今後も随時更新を行う。

No.	タイトル
1	指文字（五十音）
2	挨拶の手話（14単語）
3	質問の手話（10単語）
4	聞こえない人とのコミュニケーション方法例やマナー（全2話） 1. 聞こえない人とのコミュニケーション方法 2. 聞こえない人とのコミュニケーション方法や接し方のマナーの紹介
5	聞こえない人からのお話（全15話） 1. 「聞こえない人は、朝起きるときやお客さんが来た時、どうするの？」 2. 「聞こえない人は、テレビをどうやって観てるの？」 3. 「聞こえないお母さんは、どうやって子育てしてるの？」 4. 「僕の友達に聞こえない子がいます。手話を学びたいけど どこで勉強するの？」 5. 「災害が起こった時、聞こえない人が困ることは何ですか？」 6. 「聞こえない人のオリンピックってあるの？」 7. 「聴導犬って何ですか？」 8. 「手話は世界共通なの？」 9. 「手話への理解は広がっていますか？」 10. 「買い物に行ったとき」 11. 「旅行について」 12. 「病院に行ったとき」 13. 「聞こえない人を呼ぶとき」 14. 「手話は聞こえない人の言語」 15. 「身振りや指さしについて」
6	防災に関する手話（全20単語） 1. 避難訓練（災害 消防 情報） 2. 助け合い（学ぶ 約束 経験） 3. 火事（できる 大切 守る 方法） 4. 津波（遠い ビル 防災訓練） 5. 避難所（手伝い 一緒 安全） 6. 準備物（準備 必要 連絡 地図）
7	防災絵本「地震が起きたら」(全6) 第1話 避難訓練 第2話 助け合い 第3話 火事が起きた時の助け合い 第4話 津波が起きた時の逃げ方 第5話 避難所 第6話 地震がおきる前に
8	日常会話で使用する手話（全23本 115単語）

## 公一2 兵庫県こどものきこえ相談センター運営事業

「聴覚障害児支援中核機能強化事業実施要綱」（こども家庭庁）に基づき、保健・医療・福祉・教育の各分野の関係機関の連携により、聴覚障害児に対する新生児期からの切れ目のない支援を行うための拠点を設置し、聴覚障害児と保護者に対し適切な情報と支援を提供する。

設置：兵庫県

開設日：令和6年9月7日

運営：公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会

設置場所：神戸市灘区岸地通1-1-1 神戸市立灘区民ホール2F

開館日及び時間 火、水、木、金、土(祝日を除く) 午前9時～午後6時

### 1. 関係機関との連携

#### (1) 関係機関との調整・相談・会議参画

家族や保健・医療・福祉・教育の各分野の関係機関からの相談に対応し、紹介・連絡調整を実施した。

件数：27件

主な連携先・会議名：兵庫県難聴児親の会、県立聴覚特別支援学校、神戸市聴覚障害児支援協議会、周産期及び小児期の医療・保健にかかる専門家会議

#### (2) 運営・実務に関する会議

こどもセンター長、コーディネーター、県立聴覚障害者情報センター職員、県ユニバーサル推進課職員、その他関係者等を交え会議を開催した。

日時：7/30、9/7、9/28、10/4、11/2、11/12、11/30、12/14、2/15、2/20、3/28

#### (3) 多職種連携会議

聴覚障害児支援担当者の多職種多施設連携強化のための会議を開催した。

日時：1月14日(火) 10:00～12:00

場所：淡路県民局洲本総合庁舎

内容：①淡路島内3市の新生児聴覚スクリーニング検査実施状況報告  
②「各市における軽度難聴、一側性(片耳)難聴等の現状について」  
コーディネーター 先川貴久和

出席者：29名(現地のみ)

#### (4) 第3回兵庫県聴覚障害児支援協議会

日時：3月7日(金) 13:30～15:00

場所：兵庫県庁庁別館1階 B 会議室

内容：こどもセンターの運営状況、今後の聴覚障害児支援について

### 2. 家族支援

#### (1) 個別相談

相談窓口を設置し、来所、電話、メール等による家族からの個別相談に対応し、人工内耳・補聴器・手話の情報等を含む適切な情報提供、助言と指導を実施する。

月別	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	4	6	5	8	0	7	6	36

#### (2) 聴覚障害児・家族を対象とした学習・交流会

日 時：3月22日（土）13：30～16：30

場 所：兵庫県立聴覚障害者情報センター研修室・オンライン

内 容：補聴機器体験説明会（ロジャー3新機能紹介、年齢による送信機の選び方）

講 師：フォナック担当者

共 催：兵庫県難聴児親の会

出席者：45名（オンライン内2名）

### 3. 巡回支援

#### （1）事業所訪問

聴覚障害児が通う保育所、幼稚園、障害児通所支援事業所、学校等にコーディネーター等が出向き、課題解決に向けた専門的な助言や指導等を実施する。

日程	場所
10 / 7（月）	あわじ聴覚支援センター
10 / 25（金）	姫路聴覚支援センター
10 / 31（木）	豊岡聴覚支援センター
12 / 4（水）	こばと聴覚支援センター
1 / 21（火）	県立姫路聴覚特別支援学校

#### （2）個別訪問

必要に応じ、コーディネーター等が聴覚障害児の家庭への巡回相談を実施し必要な機関へ繋ぐ。  
実施なし。

### 4. 研修実施

聴覚障害児に関わる保健・福祉・医療・教育の関係者の支援力を向上させ、切れ目のない支援実現のための多職種連携研修や、新生児に関わることの多い市町保健師を対象に聴覚障害児の早期発見や適切な対応に関する研修等を実施した。

日 時：1月14日（火）10：00～12：00

場 所：淡路県民局洲本総合庁舎

内 容：「新生児聴覚スクリーニング検査の意義と現状」 こどもセンター長 大津雅秀

出席者：29名

### 5. 普及啓発

ポータルサイトの運営・リーフレット等の作成配布によって、聴覚障害についての理解促進及び、医療機関・相談窓口の紹介の情報発信を行った。

ア. ホームページ、Instagramアカウントの開設

イ. チラシ 3,000部作成配布

ウ. リーフレット 10,000部作成

## 収一1 出版物等普及事業

### 1. 出版事業

令和6年度は、手話テキストは前年とあまり変化はなく、新刊「50代からのちょこっと手話」はじめ標準手話半部ブックシリーズが好調でした。今年度も販売強化していきたいと思います。

今後も引き続き兵聴協独自出版物の普及に力を入れ、書籍の販売を伸ばしていきます。

令和6年度書籍売上（冊数）ベスト15（協会への預売・売掛も含む）令和7年3月31日時点

順位	品名	売上数	売上額
1	奉仕員テキスト	657	2,168,100
2	新しい手話 2025	303	308,880
3	50代からのちょこっと手話	234	205,920
4	標準手話ハンドブック医療関連用語	149	81,950
5	標準手話ハンドブック カタカナ語 外来語	144	79,200
6	MIMI 185号	120	115,900
7	MIMI 186号	119	113,050
8	MIMI 187号	115	109,250
9	新 たっちゃんと学ぼう	115	25,300
10	MIMI 184号	114	108,300
11	手話奉仕員養成のための講義テキスト	104	104,940
12	標準手話ハンドブック 法律・人権関連用語	94	51,700
13	国に子どもを産む権利を奪われた聞こえない人たち	76	14,400
14	わたしたちの手話学習辞典 I	70	191,620
15	通訳者講義テキスト改訂版（新刊）	68	134,640

### 2. 事業部

聴覚障害者用福祉用具や関連商品の販売・普及、またきこえない、きこえにくい人および関係者向けのイベント等を企画・実施しました。

#### (1) 販売事業

要約筆記用OHCロール、補聴器電池、日聴紙バインダー  
防災リュックサック、防災バンダナ  
兵聴協応援グッズ、デフリンピック応援グッズ 等

#### (2) 電話リレーサービス相談窓口の開設

本部事務所、兵庫県立聴覚障害者情報センター、たじま聴覚障害者センター、はりまふくろうの家

### 1. ひょうご聴覚障害者介護支援センター

#### (1) 統括

##### ア. ヘルパーの質の向上を目指した学習会の開催

- ・月1回のヘルパー会議時に行った研修会において知識を深めました。

ヘルパー会議や研修で行ったテーマ

- ・高齢者虐待防止法について
- ・接遇について
- ・倫理及び法令遵守について
- ・感染症、食中毒について
- ・個人情報保護法について
- ・災害対策研修
- ・認知症について
- ・緊急時の対応について
- など

利用者（個人情報保護に基づき、個人が特定されないように配慮）に対する悩みや支援内容の相談・分析を行いました。

居宅介護支援事業所（ケアマネ）の新規依頼や、相談件数も増えました。利用者の推移は、令和4年（延べ人数）は496件、令和5年は543件、令和6年は645件と、令和元年は278件でしたが、約2倍以上になりました。実際に契約（届け出）し、ケアプランを作成する利用者だけでなく、介護保険制度について知りたい、申請方法を教えてほしいなどの相談支援も増えています。入院や施設で亡くなるのではなく、最期を自宅で迎えたい、最期まで自宅で介護をしてあげたいと希望する利用者本人や家族も増えています。利用者の介護度の重度化、医療的ニーズの多様化もあり、ケアマネ自身の経験や知識、や幅広いコーディネートを求められるようになってきました。必要な研修（高齢者虐待防止法等）だけではなく、様々な研修にも積極的に参加をしました。

##### イ. 事業内容の検討

- ・ヘルパー依頼があっても登録ヘルパーの減少や他の仕事と兼務により依頼を受けることができないことがありました。利用者の依頼に応えられるような体制づくりに取り組みました。

#### (2) 事業内容

地域生活支援事業の移動支援は、現在、神戸市・三木市・尼崎市のみですが、今後も依頼があれば派遣範囲を広げていく予定です。

##### ア. 介護保険法

- ・居宅介護支援事業（介護相談・ケアプラン作成・認定調査など）
- ・訪問介護事業・介護予防訪問サービス（ヘルパーの派遣）

##### イ. 障害者総合支援法

- ・居宅介護事業
- ・同行援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・行動援護事業（実施できない 資格を持ったヘルパーが居ない）
- ・移動支援（地域生活支援事業） 対象市…神戸市、三木市、尼崎市

#### (3) 運営会議

1ヶ月に1回担当理事・サービス提供責任者・ケアマネ及び職員との間で報告・連絡・相談をすることにより情報を共有していくとともに、課題について話し合いました。

#### (4) 居宅介護支援事業とヘルパー派遣（令和6年3月末現在）

居宅介護支援事業所（ケアマネ）の担当利用者数は61名（介護予防含む）の居宅サービス計画書（ケアプラン）作成・相談（要介護認定申請・他サービス事業所の紹介等）や問い合わせに対応しながらそれぞれの在宅支援を行いました。認知症や終末期医療などで医療度の高い利用者の対応の時には、当センターだけでは対応が困難です。緊急で相談や支援の体制が図れるようにネットワークを作り、連携を

図りました。必要に応じて、地域のろうあ協会や、相談員、インフォーマルな支援者にもチームに入らせていただきました。他の訪問介護事業所や訪問看護事業所、施設などの職員から、手話を教えてほしい、コミュニケーション方法について相談に乗ってほしいなどの相談を受ける事も増えました。事業所内で手話の学習会が開催されたり、訪問看護師が手話奉仕委員養成講座を受講するなど、介護支援を通じて手話の普及や、高齢聴覚障害者の理解が広まったと感じています。情報交換、情報共有を行ったことにより支援がスムーズになったこともありました。今後も利用者が安心して、住み慣れた地域で生活ができるように支援していきたいと思っています。

ヘルパー派遣は、訪問介護事業・介護予防訪問サービス、障害者総合支援法の居宅介護事業、地域生活支援事業の移動支援事業として県全域を対象にヘルパーを派遣しました。

ヘルパーについては、土日祝日の利用希望がありますが、すべてに対応することが困難です。登録ヘルパーから土日祝日の介護センターへの連絡体制等について意見もあり対策を講じて対応していますが、登録ヘルパーだけでの対応は難しく土日祝日は職員の訪問時間も増えています。

移動支援については社会参加を促し仲間たちとの交流を増やしていくよう努めました。今後も支援していきます。

#### ア. 利用地域（令和7年3月末現在）

神戸市、尼崎市、西宮市、明石市、三田市、豊岡市、三木市、~~一多可町~~、伊丹市、川西市、加古川市

#### イ. 介護保険利用者数（令和7年3月末現在）※ヘルパー事業

要支援1：	1名（令和6年度	1名）
要支援2：	4名（令和6年度	3名）
要介護1：	6名（令和6年度	6名）
要介護2：	3名（令和6年度	5名）
要介護3：	0名（令和6年度	1名）
要介護4：	1名（令和6年度	0名）
要介護5：	0名（令和6年度	1名）
合計	15名（令和6年度	17名）

#### 介護保険利用者数（令和7年3月末現在）※居宅介護事業（ケアマネ）

事業対象：	1名（令和6年度	0名）
要支援1：	9名（令和6年度	11名）
要支援2：	10名（令和6年度	6名）
要介護1：	22名（令和6年度	17名）
要介護2：	16名（令和6年度	13名）
要介護3：	4名（令和6年度	6名）
要介護4：	4名（令和6年度	5名）
要介護5：	2名（令和6年度	3名）
合計	68名（令和6年度	61名）

#### ウ. 障害サービス利用者数（令和7年3月末現在）※家事援助及び通院等介助

区分1：	0名（令和6年度	0名）
区分2：	4名（令和6年度	4名）
区分3：	2名（令和6年度	3名）
区分4：	1名（令和6年度	0名）
区分5：	0名（令和6年度	0名）
区分6：	0名（令和6年度	0名）

合 計 7名（令和6年度 7名）

移動支援サービス利用者（令和7年3月末現在）

※介護保険サービス及び障害サービスとの重複利用者も含む

神戸市：2名（令和6年度 2名） 三木市：1名（令和6年度 1名）

尼崎市：1名（令和6年度 1名）

エ. ブロック別利用者数（令和7年3月末現在）

・介護保険（ケアマネが担当しているブロック）

阪神7名、神戸51名、東播9名、西播0名、北播0名、丹有0名、但馬1名 合計61名

・介護保険（ヘルパーが訪問しているブロック）

阪神0名、神戸12名、東播2名、西播0名、北播0名、丹有0名、但馬1名 合計15名

・障害サービス（家事援助・通院介助）

阪神2名、神戸5名、東播0名、西播0名、北播1名、丹有0名、但馬0名 合計8名

・移動支援サービス

上記記載

オ. ヘルパー派遣時間

令和5年度 介護保険・・・2675時間36分

障害福祉支援・・・836時間05分

地域生活支援事業・・・186時間05分

令和6年度 介護保険・・・2066時間59分

障害福祉支援・・・749時間5分

地域生活支援事業・・・111時間55分

## 他ー1 会員・関係団体相互扶助事業

### 1. 青年部

#### (1) 総括

休部ではあるが、第40回近畿ろうあヤングフェスティバル主管のため、岩本組織部長が青年部長代行を勤め、山田健翔・池内理斗・畑中彩・河野暁・藤井晴加を中心として動きました。

#### (2) 事業経過報告

日 程	内 容	開催地	参加者数
令和6年			
4月21日	第13回（公社）兵庫県聴覚障害者協会青年部 総会	神戸	8名
7月28日	青年講座（社会生活教室 ※スポーツ部と共催）	神戸	19名
8月17日	第40回近畿ヤングフェスティバル	神戸	17名
令和7年			
1月19日	第51回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい	加西	11名

### 2. 女性部

#### (1) 総括

2024年度は、コロナ感染も第5類扱いとなり、第13回女性部定期総会・社会見学&デフ女子会・社会生活教室女性セミナー・女性部会を開催したところ、2023年度に比べて女性会員の皆様と対面の交流が数多くできました。活動の活発化につながる為にも対面交流は大切なことです。

#### ア. 第13回女性部会定期総会

のじぎく会館で、2024年4月21日（日）に議案に対し報告・採決・役員選出が行われました。2024年度は女性部会委員出席21名、委任19名、無効2名でスタートしました。この総会は1年間の計画や予算を立てるなど議論しあう大切な場です。この時点で休部届がないために県女性部では知らないままだったというケースも多々あり、規約は現状維持ですが、開催基準要項の見直しが課題として残されました。

#### イ. 社会見学&交流会

2024年5月26日（日）、さわやかな天気にも恵まれ、明石大橋が出来上がるまでの経過が目で見れる橋の科学館見学と、手話べりしながら有酸素ウォーキングをして明石大橋を一望できるオーガニックヴィーガン料理店「AUWA（アウワ）」でランチを美味しく頂きました。参加者は26名でした。

#### ウ. 第42回兵庫県ろうあ女性のつどい

2024年9月8日（日）に、日本のへそ西脇市で酷暑の中、アパレルメーカーの玉木新雌村（たまき・にいめむら）でカラフルですが、伝統を基にした播州織りの工程を見学しました。その2階では、無農薬野菜を使ったカフェがあって、ランチを全員美味しく頂きました。参加者24名でした。みんな和気あいあいと楽しく過ごしました。場所柄、車で来る方が多かったです。車のない方は西脇市聴協の協力を頂いて駅まで送り迎えして頂きました。特に高齢の方や歩くのが大変な方はとても助かり、本当にありがたかったです。

#### エ. 社会生活教室「女性セミナー」

同じく2024年9月8日（日）の午後から、西脇市青少年の家で参加者19名でしたが、県内でも数少ないろう防士辻井秀樹氏（小野市）をお招きし「いつ来るか分からない自然災害への備えと心構え」をテーマに講演して頂きました。普段からの備えは必要なのはみなさんわかっているのですが、準備が伴わないというのが多かったです。今後30年間の間に80%の

確率で南海トラフの発生が起きるとテレビで言っているので、この講演を活かして即実行していく必要がありますね。

#### オ. 女性部会

2025年1月11日(土)は出席者18名でしたが、議題(2025年度の企画など)に添って話し合い、意見や情報交換をしました。例年、女性部会とセットで開催しているデフ女子会はこの5月の社会見学や9月のろうあ女性のつどいでそれぞれ食事付きでしたので、今年度は中止することを報告しました。

#### カ. 近畿ろうあ女性部大学習会

2024年7月13日(土)大阪府堺市総合福祉会館で、昨年の冬季デフリンピックのデフカーリング選手として活躍した当協会女性部役員の長澤理佐子氏が「デフカーリングを始めたきっかけやトルコ冬季デフリンピック」をテーマにした講演が開催されました。高齢の方も子どもも参加できるスポーツなので、ぜひとも関心をもって参加くださいと締めくくられました。参加者38名(うち兵庫から8名)でした。

#### キ. 第54回近畿ろうあ女性フォーラム in 大阪

2024年7月14日(日)に、同じく堺市総合福祉会館で開催されました。第1分科会の「女性の権利」「豊かな老いを考える」「ワークライフを考える」の3つの分科会が開催されました。99名(うち兵庫から10名)の参加でした。

#### ク. 第54回全国ろうあ女性集会

岡山県倉敷市で「アジアろう女性の現状と課題、これからの取り組みについて」中西久美子氏の記念講演と5つの分科会が開催されました。兵庫県からの参加者は10名と少なかったことは反省です。

#### ケ. 第51回全国ろうあ女性研修会

広島県広島市で、「被爆体験証言」切明千枝子氏と「西日本豪雨ボランティア」横村恭子氏の2人から講演がありました。どちらもいのちを守るという強い訴えによる活動のお話でいろいろと考えることの多い有意義な研修でした。

### (2) 事業経過報告

#### 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会女性部

4月21日(日)	第13回定期総会	兵庫県立のじぎく会館	21名
5月26日(日)	社会見学「橋の科学館」	神戸市垂水区	26名
9月8日(日)	第42回兵庫県ろうあ女性のつどい	西脇市玉木玉木新雌村	24名
	社会生活2024年度女性セミナー	西脇市青少年の家	19名
1月11日(日)	女性部会	神戸市立総合福祉センター	18名

#### 近畿ろうあ連盟女性部

7月13日(土)	大学習会	堺市総合福祉会館	38名
7月14日(日)	第54回近畿ろうあ女性フォーラム	堺市総合福祉会館	99名

#### 一般財団法人全日本ろうあ連盟女性部

10月18日(金)~10月20日(日)	第54回全国ろうあ女性集会	岡山県倉敷市	589名
2025年2月2日(日)	第51回全国ろうあ女性研修会	広島市総合福祉センター	128名

## 3. 高齢部

### (1) 総括

#### 第45回近畿ろうあ高齢者大会&14回近畿ろうあ高齢部スポーツ大会

近畿ろうあ高齢者大会 in 兵庫として参加人数は目標達成。しかし台風10号の接近により、参加者の安全を第一に考えた結果、開催中止と決定しました。

#### 第38回兵庫県ろうあ敬老会

最年長の90歳をはじめ、長寿の会員18名が出席されました。インタビューでは趣味や生きがいについてお話ししてくださり、また紙コップを使ったゲームを楽しんでいただきました。今年も無事に開催することができ、うれしく思いました。

#### 「社会生活教室」2024年度こうれいしゃ講演会

「ドイツ」のテーマで奈良の芳本光司氏にエピソードやドイツと日本の違いについてわかりやすく話して頂きました。

#### 第19回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会

川西での開催が無理となり、代替りの会場を探したところ、明石市の魚住17号池みんなの公園のグラウンドを借りることが出来ました。急な場所変更により高齢部役員が中心になり、準備を進めてきました。協力頂いた青年部・女性部・スポーツ部・明石市グラウンドゴルフ協会には本当にありがとうございました。強い北風が吹き荒れる中でしたが、年齢に関係なくプレーしながら交流を深める事が出来ました。

#### 2024年度日帰り旅行会

旅行会社に一泊旅行の見積もりを依頼したところ、物価高騰でこちらが設定した費用では難しかったです。中止を考えましたが、日帰りバス旅行に変更企画しました。最初は滋賀県の石山寺でしたが、最強・最長寒波襲来による大雪の予報の為、岡山の後楽園・備前長船力剣博物館見学に変えました。久しぶりのバス旅行で楽しかったという声が多かったです。

### (2) 事業報告

4月20日(土) 第13回高齢部 兵庫県立のじぎく会館出席5名+委任37名

2024年度社会見学 中止

9月16日(月・祝) 第38回兵庫県ろうあ敬老会 神戸市障害者福祉センター (44名)

「社会生活教室」2024年度こうれいしゃ講演会

神戸市障害者福祉センター (65名)

11月23日(土) 第19回兵庫県ろうあ高齢者グラウンドゴルフ大会

17号池魚住みんな公園 (54名)

#### 2025年

2月22日(土) 2024年度日帰り旅行会 岡山後楽園 (35名)

### <役員会>

#### 2024年

6月 1日(土) 第1回組織部会議 兵庫県立聴覚障害者情報センター (2名)

6月16日(日) 第1回役員会 垂水 (5名)

7月14日(日) 第1回4役会 三ノ宮 (4名)

9月11日(水) 第2回4役会 加古川市総合福祉会館 (4名)

10月 5日(土)	第2回役員会	ウイズあかし(5名)
10月26日(土)	中間監査	兵庫県立聴覚障害者情報センター(2名)
11月16日(土)	会計監査	兵庫県立聴覚障害者情報センター(2名)
2025年		
1月25日(土)	第3回4役会議	ウイズあかし(4名)
2月 8日(土)	第2回組織部会	兵庫県立聴覚障害者情報センター(2名)
3月 4日(火)	近畿ろうあ高齢者大会会計中間監査	神戸(3名)
3月16日(日)	旅行会反省会	魚住(5名)

#### <近畿>

##### 2024年

5月31日(金)	第1回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議	(大阪)(2名)
8月31日(土)	第45回近畿ろうあ高齢者大会	(兵庫)(中止)
9月 1日(日)	第14回近畿ろうあ高齢者スポーツ大会 第35回GB競技大会&第15回GG競技大会	(兵庫)(中止)
10月25日(金)	第1回近畿ろうあパークゴルフ大会	(京都)(5名)
11月21日(木)	第2回近畿ろうあ連盟高齢部代議員会議 第10回近畿ろうあ高齢部幹部研修会	(2名) (和歌山)(4名)

##### 2025年

3月21日(金)	第3回近畿ろうあ連盟高齢部常任委員会	(大阪)(1名)
----------	--------------------	----------

#### <全国>

##### 2024年

6月 8日(土)	第72回全国ろうあ者大会・日帰りツアー	(和歌山)
9月27日(金)	第36回全国ろうあ高齢者大会& 第38回GB競技大会&第14回GG大会 ~29日(日)	(愛媛)(2名)

##### 2025年

2月13日(木)~14日(金)	第16回全国ろうあ高齢部代表研修会交流会	(岐阜)(2名)
-----------------	----------------------	----------

## 4. スポーツ部

### (1) 令和6年度 総括報告

2024年度は、第51回近畿ろうあ者体育大会が兵庫県にて開催されました。役員達は実行委員会の一員となり、一緒に相互協力しながら無事大会を終えることができました。オープン競技ではゴルフ、グラウンドゴルフも取り入れました。多くの参加をいただきました。2024年度の役員会は全10回行いました。顔合わせでの会議、オンライン(zoom)を使っての会議も行いました。事務局に関しては、役員会の招集、議事録作成、行事に関する公文書作成などを行い、スポーツ部の運営に努めてまいりました。役員会だけではなく、LINEグループやメール等の情報交換、確認なども行いスムーズに進められることができました。会計では予算の中でやりくりを行い、無事に処理できました。

企画担当からは、第43回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会、パラスポーツ王国/夢プロジェクト2024、スポーツふれあい企画を進めてきました。ソフトボール大会は、天気が恵まれ、多くのチームが参加いただき盛大な大会になって、無事に活動が出来たと思います。初めての企画「ひょうごゴルフコンペ」

も行い、16名の参加がありました。

社会生活教室（青年部との合同企画）では、「私が見た、聞いたデフリンピックの歴史」をテーマにスポーツ部副部長の信田光宣さんから講演をしていただきました。デフリンピックは誰か作ったのか、パラリンピックより歴史が長いなど背景も含めた内容を分かりやすくお話していただきました。

「パラスポーツ王国 夢プロジェクト2024」イベントでは、「デフリンピックを知ろう！！」のテーマをもとに参加しました。「デフリンピックを知っていますか？」に参加していただいた皆さまにアンケートしました。結果、「Yes94名」、「No124名」でした。デフリンピックのことをまだ知らない人がたくさんいることがわかりました課題。もっと知名度を向上していきたいと改めて思いました。

編集担当からは、毎月ろうあ兵庫にスポーツ部のページを掲載して参りました。スポーツ部から発信、取り組みなどを周知してきました。ページが限られているなか、どのように伝えていくか工夫して参りました。読みやすいように工夫していきますが、他に掲載して欲しいデフスポーツ関連の情報がありましたら、ぜひ情報提供の協力をお願いします。

2024年4月20日（土）に第51回近畿ろうあ者体育大会は男子・女子バレーボール、ボウリング、ゲートボール、フットサル、卓球、テニス、グランドゴルフ、ゴルフ競技の申込受付をしました。また第58回全国ろうあ者大会 in 群馬の参加申込及び説明会を2024年6月19日（水）に行いました。陸上、テニス、男女バレーボールの競技参加申込がありました。

第23回全国障害者スポーツ大会（佐賀県）の近畿地区予選では、男子・女子バレーボールが参加しましたが、男女ともに2位となり、全国障害者スポーツ大会出場条件上、出場することができませんでした。

今年は夏季デフリンピックが東京に開催されます。デフリンピック知名度向上は、都内では約40%に上がっている状況になっています。全国からするとパラリンピックと比べてまだ低い状況にあります。デフスポーツの普及、啓発等の取り組みして、会員や選手、関係者の皆様の協力、社会への周知が不可欠です。今後の取り組みなどの協力が必要なので是非ともよろしくお願い申し上げます。

## （2）令和6年度 事業経過報告

### ア.（公社）兵庫県聴覚障害者協会スポーツ部第13回スポーツ部総会

【日程】2024年4月20日（土） 【場所】兵庫県立のじぎく会館

【出席】12名（委任：8名・無効：11名）

### イ. 第51回近畿ろうあ者体育大会 監督主将会議

【日程】2024年4月28日（日） 【場所】兵庫県立のじぎく会館

【参加競技】男子・女子バレーボール、ボウリング、ゲートボール、フットサル、卓球  
テニス、グランドゴルフ

### ウ. 第51回近畿ろうあ者体育大会

【日程】2024年5月18日（土）～19日（日） 【場所】兵庫県明石市など

【参加競技】男子・女子バレーボール、ボウリング、ゲートボール、フットサル、卓球  
テニス、卓球、グランドゴルフ、ゴルフ

### エ. 全国障害者スポーツ大会／聴覚障害者バレーボール競技 近畿地区予選大会

【日程】2024年5月26日（日） 【場所】兵庫県神戸市

【参加人数】兵庫県男女選手別 各10名

### オ. スポーツふれあい企画

【日程】2024年8月24日（土） 【場所】明石市立総合福祉センター 体育館  
 【内容】「タグラクビーを知っていますか？」講師：川上 能壽氏（代理：足立 達哉氏）  
 【参加】11名

カ. 第58回全国ろうあ者体育大会

【日程】2024年9月13日（金）～15日（日）【場所】群馬県高崎市など  
 【参加競技】男子、女子バレーボール、陸上、テニス、バトミントン

キ. 青年部・スポーツ部合同企画『社会生活教室』

【日程】2024年9月28日（土） 【場所】神戸市立総合福祉センター  
 【内容】「私が見た、聞いたデフリンピックの歴史」講師：信田 光宣氏  
 【参加】19名

ク. パラスポーツ王国 inHYOGO&KOBE 夢プロジェクト2024「デフリンピックを知ろう!!」

【日程】2024年11月3日（日） 【場所】神戸しあわせの村  
 【内容】サッカー体験、ラクビー体験、バレーボール体験、ミニ手話講座

ケ. 第42回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

【日程】2024年11月17日（日） 【場所】加古川河川敷グラウンド  
 【参加】60名

コ. 特別企画 ひょうごゴルフコンペ

【日程】2025年3月23日（日） 【場所】青野運動公苑 アオノゴルフコース  
 【参加】16名

(6) 当部関連会議

専門部会計監査会：2024年4月14日（日）  
 組織部会議：2024年6月1日（土）・2025年2月8日（土）  
 専門部中間会計監査会：2024年10月26日（土）  
 行事調整委員会：2024年12月21日（土）

ア. 役員会出席状況

日時		場所	出席人数
第1回	2024/5/9（木）	オンライン	8名
第2回	6/1（土）	兵庫県立聴覚障害者情報センター	6名
第3回	7/6（土）	神戸市立総合福祉センター	6名
第4回	8/24（土）	明石市立総合福祉センター	5名
第5回	9/28（土）	神戸市立総合福祉センター	5名
第6回	10/5（土）	兵庫県立聴覚障害者情報センター	5名
第7回	11/10（日）	神戸市立総合福祉センター・zoom	7名
第8回	12/14（土）	兵庫県立聴覚障害者情報センター・zoom	7名
第9回	2025/2/1（土）	兵庫県立聴覚障害者情報センター・zoom	7名
第10回	3/22（土）	兵庫県立聴覚障害者情報センター	7名

## 5. 全国手話検定試験事業

(1) 全国手話研修センターが主催する「全国手話検定」の兵庫会場として当法人が準備を進め、試験実施に協力しました。(5級～1級)

### ア. 5級・4級試験の実施

日 程：令和6年10月12日(土)

会 場：神戸市立中央区文化センター・姫路市総合福祉会館

受験者：5級：75名(神戸)30名(姫路)、4級：71名(神戸)31名(姫路)

### イ. 3級・2級試験の実施

日 程：令和6年10月13日(日)

会 場：神戸市立中央区文化センター・姫路市総合福祉会館

受験者：3級：80名(神戸)32名(姫路)、2級：49名(神戸)24名(姫路)

### ウ. 準1級・1級試験の実施

日 程：令和4年10月19日(土)

会 場：神戸市立中央区文化センター

受験者：準1級30名(神戸)、1級24名(神戸)

### エ. 団体受験の実施

令和6年10月28日(月)4級 6名、3級6名

会場：県立加古川南高校

令和7年 2月16日(日)4級18名、3級2名、2級9名

会場：宍粟市防災センター

令和7年 3月16日(日)4級10名、3級9名、2級1名

会場：豊岡市民プラザ

### オ. インターネット受験の実施

令和7年2月11日(祝)4級40名(オンライン)

令和7年2月24日(祝)5級40名(オンライン)

## 6. 第20回兵庫県聴覚障害者文化祭

日 時：令和6年9月7日(土)午前11時00分～午後3時00分

場 所：神戸市立灘区民ホール

2階兵庫県立聴覚障害者情報センター、5階マリーホール

## 7. 第40回兵庫県ろうあ者大会

日 時：令和6年6月16日(日)午前11時00分～午後4時00分

場 所：神戸市垂水区文化センター レバンテホール

内 容：オープニング 神戸学生よさこいチーム湊による演舞

第一部 大会式典 (来賓、来賓祝辞等

議事(会務報告、大会宣言、大会決議など)

第二部 記念講演

『手話映画を撮影して』 講 師 映画監督 谷 信 一 氏

アトラクション 竹本兄弟 「双人変面」

第三部 次回開催地への引継ぎ 神戸市から赤穂市へ

福引抽選会

参加者：510名

## 8. 第51回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい

日 時：令和7年1月19日(日)午前10時00分～午後3時30分

場 所：加西市健康福祉会館1階大会議室(ホール)

内 容：オープニング 和太鼓演奏 ひまわりっこクラブ

第一部 大会式典 (来賓、来賓祝辞等)

成人祝いのつどい (新成人紹介、励ましのことば、記念品贈呈など)

巳年生まれ祝いのつどい (紹介、お祝い、記念品贈呈)

第二部 記念講演

『みんな違っていい 多様性を意識した～和やかボディランゲージ遊学のススメ～』

講 師 庄 崎 隆 志 氏

第三部 次回開催地への引継ぎ 加西市から神戸市へ

福引抽選会

参加者：370名

## 9. 第43回兵庫県ろうあ者ソフトボール大会

日 程：令和6年11月17日(日) 9:00~16:00

場 所：加古川市

参 加：60名

## 10. 第10回兵庫県ろうあ者討論集会

日 程：令和6年11月24日(日)

時 間：13:30~16:00

場 所：明石市大久保市民センター

参 加：50名

内 容：「優生保護法最高裁判決、補償法の意義と全面解決に向けた課題について」

講 師：優生保護法被害ひょうご弁護団 津田隆男氏

1. 理事会

		第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回
		2024/ 05/14	2024/ 06/15	2024/ 08/02	2024/ 10/5	2024/ 12/21	2024/ 01/13	2025/ 03/23
理事長	本郷 善通	出	出	出	出	出	出	出
副理事長	小林 泉	出	出	/	/	/	/	/
副理事長	吉野 浩	/	/	出	出	欠	出	出
理事	嶋本 恭規	欠	出	出	欠	出	出	出
	小林 泉	/	/	出	出	出	出	出
	嘉田 眞典	出	出	出	出	出	出	出
	山本 紋子	出	出	出	出	出	出	出
	岩本 吉正	出	出	出	出	出	出	出
	仲井 正	出	出	出	出	出	出	出
	橋詰 一則	出	出	出	出	欠	出	出
	足立 達哉	欠	出	欠	出	欠	出	出
	古 隆喜	出	出	出	出	出	出	出
	水野 洋子	出	出	/	/	/	/	/
	大西 洋子	欠	出	/	/	/	/	/
	中村 泰輔	出	出	/	/	/	/	/
	小山 貴寛			出	出	出	出	欠

監事	吉野 浩	出	出	/	/	/	/	/
	井谷 亮	出	出	出	出	出	出	出
	川上 能壽	欠	出	/	/	/	/	/

2. 総会

第13回総会 令和6年6月15日(土) 14時~16時

会場：長田区文化センター 総会員数 603名 出席会員数 89名 委任会員数 277名

3. 事務局

協会の実務全般のとりまとめ

協会が実施する事業（公益事業、独自事業、委託事業など）を推進するにあたって必要な実務作業を行い、事業の円滑化を図るとともに行政・関係機関・団体等との連携 及び関係づくりにつとめました。

4. 令和6年度人事異動報告

(1) 採用

令和6年4月1日 藤本 佳永 たつのころうあハウス／嘱託（再雇用）

令和6年8月1日 川満 和則 兵庫県こどものきこえ相談センター

令和6年9月1日	先川 貴久和	兵庫県こどものきこえ相談センター／パート
令和6年9月13日	中務 寛之	にしのみや聴覚障害者センター／パート
令和7年3月1日	谷口 友美	本部事務所

(2) 退職・契約終了

令和6年12月31日	竹原 泰子	本部事務所
令和7年3月31日	上村 ゆう子	たじま聴覚障害者センター／パート
令和7年3月31日	加芝 正則	たじま聴覚障害者センター／パート
令和7年3月31日	門脇 智恵子	たつのご工房
令和7年3月31日	嘉田 眞典	本部事務所

(3) 異動

令和6年4月1日	濱崎 明奈	たつのごろうあハウス管理者兼務（サビ管）
令和6年4月1日	村瀬 雅美	本部事務所（前 たつのごろうあハウス）
令和6年4月1日	木崎 奈津希	兵庫県立聴覚障害者情報センター （前 本部事務所）
令和6年4月1日	西崎 未奈子	たつのごろうあハウス （前 たつのご工房）
令和6年4月1日	鈴木 佳子	本部事務所／パート （前 兵庫県立聴覚障害者情報センター）

(1) 近畿

ア. 第51回近畿ろうあ者体育大会

日 時：令和6年5月18日（土）～19日（日）

場 所：明石市・小野市・加西市

内 容：野球、バレーボール、卓球、ゲートボール、フットサル、テニス、  
グラウンドゴルフ、ゴルフ

参加者：274名

イ. 第45回近畿ヤングフェスティバル

日 時：令6年8月17日(土)

場 所：六甲山アスレチックパークグリーンニア（神戸）

ウ. 第45回近畿ろうあ者高齢者大会・第14回近畿ろうあ高齢者スポーツ大会

日 時：令6年8月31日(土)～9月1日（日）

場 所：神戸市しあわせの村（台風のため中止）

(2) 兵庫県関係

- ・兵庫県くすの木学級運営委員会への協力（兵庫県教育委員会）年2回

(3) 近畿ろうあ連盟及び近畿の行事への協力と代表派遣

- ・第51回近畿ろうあ者体育大会（兵庫）令和6年5月18日～19日
- ・第74回近畿ろうあ者大会（和歌山）令和6年10月6日
- ・第13回近畿ろうあ者福祉・労働フォーラム（京都）令和6年11月9日
- ・第34回近畿ろうあ教育フォーラム（奈良）令和7年2月1日
- ・第35回近畿手話サークルフォーラム（和歌山）令和7年3月23日
- ・2024年度近畿ろうあ連盟幹部研修会（京都）令和7年1月25日～26日
- ・近畿ろうあ連盟評議員会（大阪）令和7年1月26日
- ・第1回近畿ろうあ連盟代表者協議会（兵庫）令和6年4月29日
- ・第2回近畿ろうあ連盟代表者協議会（大阪）令和7年1月25日
- ・近畿地区専従職員研修会（大阪）令和6年10月30日～11月1日

(4) 全日本ろうあ連盟、全国ろうあ者大会への協力と代表派遣

- ・第12回（通算第75回）一般財団法人全日本ろうあ連盟評議員会 令和6年6月7日～9日
- ・第72回全国ろうあ者大会（和歌山）令和6年6月7日～10日
- ・第58回全国ろうあ者体育大会（群馬） 令和6年9月13日～15日

### 3. 各種委員会

(1) 情報センター運営協議会

ア. 会議日程：5/15, 6/26, 7/27, 10/30, 2/19, 3/18

要望書提出：兵庫県 8/2 神戸市 8/26

イ. 場所：神戸市立総合福祉センター・兵庫県立聴覚障害者情報センター

ウ. 構成団体：兵庫県聴覚障害者協会・兵庫県難聴者福祉協会・神戸ろうあ協会・神戸市難聴者協会・  
兵庫県手話サークル連絡会・兵庫県要約筆記サークル連絡会・兵庫手話通訳問題研究会  
神戸市手話サークル連絡会・要約筆記こうべ

エ. 活動内容

令和7年度に向けた要望書をまとめて県と神戸市に提出しました。

## (2) ひょうご聴障ネット

### ア. 目的

兵庫県下の聴覚障害者関連福祉事業への支援を行うとともに、聴覚障害者福祉の向上と聴覚障害者に対する社会的啓発に努める。聴覚障害者関連福祉事業の安定した運営を図るには具体的な支援の取り組みが必要になるため、「聴覚障害者の『完全参加と平等』の実現をめざす会」と「ひょうご高齢聴覚障害者施設建設委員会」の活動をひきつぐ団体として設立しました。

### イ. 令和6年度の活動

#### (主催事業・行事)

- ・総会（5月12日）会場：長田区文化センター大会議室 参加者 70名
- ・夏の学習会（8月11日）「優生保護法～勝訴を受けて」 参加者 97名  
講師：松本多仁子（優生保護法問題の全面解決をめざす全国連絡会事務局長）
- ・兵庫県聴覚障害者文化祭（9月7日）参加者540名
- ・年4回「ひょうご聴障ネットニュース」発行
- ・役員会 毎月第3木曜日 於：神戸長田ふくろうの杜
- ・事務局会議 毎月第2、4木曜日
- ・2025年ふくろうカレンダーの作成、販売

#### (協力事業・行事)

- ・旧優生保護法被害国賠訴訟 傍聴呼びかけ等

#### <支援>

淡路おのころの家、淡路ふくろうの郷

#### <防災の取り組み>

「神戸やまぶき財団」の助成を受けて、防災バンダナを1,500部作成し関係団体に配布。

#### <会員・資産>

2025年3月31日現在 会員数 329人・団体 70

(内訳：個人/275、月払46、特別/8、団体/70)

2024年3月31日現在 資産残高 18,374,490円

#### <兵聴協との関わり>

- ・兵聴協から代表委員1名・事務局次長1名・委員2名を派遣。その他学習会などで協力。
- ・「ろうあ兵庫」で毎月聴障ネットの活動を会員に報告、PRを行いました。

## (3) 兵庫のろう教育を語り合う会

ア. 定例会議：第2木曜日開催 Zoom 20:30～

### イ. 主な活動

- ・第25回ろう教育フォーラム in 兵庫  
日 時：7月20日（土）14:00～16:00  
会 場：神戸市立総合福祉センター  
内 容：きこえない子どもたちの明るい未来のために  
講 師：菅原仙子（都立葛飾ろう学校・都立大塚ろう学校 早期教育相談指導員）

## (4) 兵庫手話健康対策委員会

ア. 定例会議：隔月第2月曜日 19:00～21:00 神戸市立総合福祉センター

5/13（月） 7/10（水） 9/9（月） 11/11（月） 1/20（月）  
3/10（月）

イ. 構成委員：(兵聴協) 仲井・水野 (6月20日まで)  
(県サ連) 苗村・江木 (兵通研) 秦野・鈴木

ウ. 活動内容

- ・啓発DVD「リラクゼーションのすすめ」販売(増版し啓発していく)
- ・兵庫県立聴覚障害者情報センター けいわん検診への協力(受付、アンケートの実施)
  - ①篠山会場 丹波篠山市立四季の森生涯学習センター : 6/25 (火)
  - ②川西会場 川西市キセラホール : 6/27 (木)
  - ③高砂会場 高砂市ユーアイ福祉交流センター : 7/4 (木)
  - ④神戸会場 兵庫県立聴覚障害者情報センター : 7/16 (火)・7/30 (火)
- ・兵庫県立聴覚障害者情報センター主催健康学習会への協力(受付、ストレッチ): 6/23 (日)
- ・第30回近畿けいわんフォーラム提出用「健康問題への取り組み映像」の作成  
兵庫県立聴覚障害者情報センター: 10/4 (金)

・けいわん学習会

① 『けいわんについて聞いてみよう』

日時: 9月21日(土) 13:30~16:00

場所: 兵庫県立聴覚障害者情報センター

講師: 埴田 和史氏 (琵琶湖リハビリテーション専門職大学教授)

参加者: 18名(ろう者5名・きこえる人13名)

② 『~手話はいのち~ろうあ運動とけいわん』

日時: 2月11日(火・祝) 13:30~16:00

場所: ピアさぼーとセンター(たつの市)

講師: 仲井 正 氏

参加者: 33名(ろう者17名・きこえる人16名)

- ・学習会では肩甲骨のデザイン入りTシャツを着用、けいわん体操を参加者と共に実施
- ・けいわんアンケート結果の集計と考察をし、けいわんニュースに掲載  
市町の通訳派遣コーディネーター、けいわん検診を実施している大阪社会科学研究所へ配付  
ご講演いただいた埴田氏にも手渡ししました。

エ. 啓発事業

- ・ろうあ兵庫、県サ連だより、兵通研ニュースに「けいわんニュース」を隔月で掲載

オ. 総括

- ・けいわんに関する学習会、けいわん検診は、今後も継続する必要があります。

## (5) 災害対策委員会

ア. 委員会

会議の開催なし、グループLINEでの連絡・やり取りのみ

イ. 構成委員:(兵聴協) 橋詰、中村、嘉田、岩本 (県サ連) 平塚、竹内 (兵通研) 鞍富、上田

ウ. 活動内容

1. 防災バンダナの作成に協力

兵庫県聴覚障害者文化祭展示ブース出展(防災リュック等)

2. 『ろうあ兵庫』に記事の掲載

兵通研 被災地から学ぶ学習会「聴覚障害者と災害」 講師: 森川美恵子氏

3. 令和6年10月14日(月) 防災学習会
4. 令和6年11月14日(木) 行政職員向け防災学習会
5. 令和7年1月17日(火)「ひょうご安全の日のつどい」  
県立聴覚障害者情報センターが出店・展示ブースへの協力  
内容：聴覚障害者の生活機器の展示と防災啓発とパンフレット紹介活動  
ミニ手話教室の開催、60名の参加

## エ. 総括

令和6年度は、委員会活動の継続の有無の判断を3団体トップ会議に委ねる中、情報センターの学習会等に自主参加する活動に留まっています。

今年の1月17日の兵庫県「ひょうご安全の日のつどい」では出展協力で啓発活動を行いました。

本年度末に委員会が解散となります。今後は県立聴覚障害者情報センターの防災の取り組みに委ねます。

今後もきこえない人に対する災害時の対策や情報保障制度の充実を行政や各機関に求めながら、多くの県民にきこえない人を含めた障害者問題への理解を深めて頂く活動が必要と思います。

今後は、障害のある人々だけでなく、県民全てにやさしい共生社会をつくるため、3団体に関わる人たちの取り組む意識を向上して頂くことを念じ、委員会活動の開催といたします。

## (6) 聴覚障害者の医療を考える会（“いのち”を考える会）

### 【活動方針】

- 公益社団法人兵庫県聴覚障害者協会と連携して、きこえない、きこえにくい人のよりよい医療のあり方を追求する
- 班員の専門性を活かした活動を展開する
- 医療班の活動を社会に向けて発信する
- 他府県の医療班との情報交換を行う

### 【活動内容】

班員28名で活動（医師1名、薬剤師2名、看護師10名、助産師1名、臨床検査技師1名、歯科衛生士1名、聴覚障害者の医療に関心のある会員12名）

#### 1. 一聴覚障害者の医療を考える会—“いのち”を考える会

○5/23（木）第195回

「キーワードで思い起こす震災体験、避難所生活」

～クラッシュ症候群、エコノミークラス症候群、脱水症、感染症など～

講師：石川 靖二 医師（神戸共同病院 / 神戸市長田区）

参加者：26名（聴覚障害者10名）

○7/25（木）第196回

「『更年期障がい』についてお話しします」

～これからの人も、苦しんでいる人も、終わった人も、男の人も～

講師：山口 幸俊 医師（山口レディースクリニック 院長 / 神戸市中央区）

参加者：18名（聴覚障害者7名）

○9/14（土）第197回

第22回 出前“いのち” in 淡路

「生活習慣病を予防するには」

講師：岡野 浩和 医師（しおかぜ診療所 / 淡路市）

参加者：37名（ろう者7名）

○11/28（木）第198回

「女性目線で確認する乳がん対応」

～自己チェック、手術の決断、乳房形成、その後のケア～

講師：松之木 アカヴィア 愛香 医師（あいかプレストクリニック / 芦屋市）

参加者：20名（ろう者8名）

○2/27（木）第199回

「高齢者が気をつけなくてはいけない冬の気道感染症」

～咳、微熱、倦怠感が続くとき～

講師：土屋 貴昭 医師（神戸医療センター / 神戸市須磨区）

参加者：23名（ろう者4名）

・保険医協会の協力と、兵庫県聴覚障害者協会との連携で開催を継続できている。

## 2. 医療班員の専門性を活かした活動の展開

- ・行事で健康相談コーナーを設け、参加した医療班員の資格を活かして、健康相談（医師、看護師）、血圧測定、お薬相談、検査相談、握力測定を実施した。
- ・握力測定は数値で筋力を実感でき、きこえない人が健康に関心を持てる有効な方法として実施した。
- ・行事における各コーナーの利用者件数

6/16（日） 第40回兵庫県ろうあ者大会（垂水区文化センター）

健康相談13件、血圧測定92、握力測定62

7/28（日） 神戸聴覚特別支援学校同窓会総会（神戸市立総合福祉センター）

血圧測定16、

8/7（水） 三田手話サークル礎 訪問（三田市総合福祉保健センター）

健康相談4件、血圧測定16、

9/7（土） 第20回兵庫県聴覚障害者文化祭（兵庫県立聴覚障害者情報センター）

健康相談10件、血圧測定103、お薬相談2、歯科相談6

9/15（日） 姫路ろうあ協会敬老会（姫路市総合福祉会館）

血圧測定33、お薬相談1、握力測定23

11/3（日） 神戸市聴覚障害者のくらしを考える会（長田区文化センター）

健康相談8件、血圧測定22、歯科相談5、握力測定22

1/19（日） 第51回兵庫県ろうあ者新年大会兼成人祝いのつどい（加西市健康福祉会館）

健康相談14件、血圧測定83、握力測定83

3/9（日） 第43回神戸ろうあ協会耳の日記念大会（西区文化センターなでしこホール）

健康相談4件、血圧測定58、お薬相談1、握力測定57

## 【課題】

- ・“いのち”を考える会に若い年代の参加が少ない。若い年代の参加を増やす方法を検討したい。
- ・健康相談コーナーは個別に相談できる貴重な機会なので、お薬手帳や健康診断結果を持参してもらえようように工夫したい。